

ハ、第一條口號ノ條件ニ適合スル旨同號但書ノ場合ニ於テハ特ニ基礎鞏固ト認メタル事由

ニ、金額及其用途

ホ、償還ノ方法及期限

ヘ、第三條ノ審査概要並意見

ト、最近ノ財産目錄、貸借對照表、並最近三事業年度ニ於ケル毎年度ノ事業ノ分量及損益計算表

チ、資金負擔ニ關スル地方長官ノ意見

リ、舊債償還ノ場合ニ在リテハ舊債ノ額、利率及ヒ償還方法

第七條ノ一 第五條ノ農商務、大藏、兩大臣ニ對スル通牒ニハ各資金

ニ付前條イ、ニ、ホ、チ、リ、ノ各事項ヲ具セラルヘキコト但シ指

揮ヲ受ケテ之ヲ決定シタルモノニ付テハ此限ニアラス

第七條ノ二 資金供給決定後用途ノ變更ヲナサントスルモノアルトキ

ハ第五條ヲ準用スヘシ

産業組合中央會ノ中介ニ依リ勸業銀行

ヨリ資金借入ニ關スル件

産業組合貸付取扱ニ關スル覺書(勸業銀行ト中央會ト協定シタルモノ)

第一 本行カ産業組合ヨリ借入申込ヲ受ケタルトキハ産業組合中央會ニ協議スルモノトス

右ノ場合ニ於テ中央會ハ該組合ノ成績及役員ノ信用責任貸付ノ參考トナルヘキ事項ヲ調査シ意見ヲ付シ本行ニ回付スルモノトス

第二 産業組合中央會カ産業組合カ本行ニ對スル借入申込ノ取次ヲ受ケタルトキハ前項ニ準シ意見ヲ付シ左ノ書類ヲ添ヘテ申込書ヲ本行ニ回付スルモノトス

一、組合ノ登記簿謄本

二、定 款

三、財産目錄

訓令及通牒

四、貸借對照表

五、事業報告書

第三 第二項ノ手續ニヨリ書類ハ可成名府縣毎ニ取纏メ組合ノ資金必

要時期ニケ月前ニ本行ニ回付スルモノトス

第四 産業組合ノ借入申込ニ對スル貸借及拒絕ニ就テハ毎月末日迄ニ

本行ヨリ中央會ニ報告スルモノトス

産業組合資金仲介規定(中央會ニ於テ作成シテ勸業銀行ノ承諾ヲ經タルモノ)

第一條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ日本勸業銀行ヨリ資金借入ル

ル場合ニ於テハ本會ハ本規定ニヨリ仲介ノ取扱ヲ爲スモノトス

第二條 日本勸業銀行ノ貸付條件ハ左ノ如シ

一、聯合會ヲ除クノ外三事業年度ヲ經過シタル組合タルヘシ但設立

者ノ信用其他特別ノ事情ニ依リ基礎鞏固ナリト認メタルモノハ

此限リニ非ラス

二、有限責任及保証責任ノ組合ニ對シテハ役員又ハ役員ト資産信用

確實ナル組合員ヲシテ個人ノ資格ニ依リ債務ヲ保証セシムルモノトス組合カ擔保ヲ提供シタル場合若シクハ特ニ組合基礎鞏固ニシテ資産又豊富ナル場合ニハ貸付金額ノ多少及年限ノ長短ニヨリ保証人ヲ徵セサルコトヲ得

三、無限責任組合ニ對シテハ特別ノ事情アルモノヲ除クノ外保証人ヲ徵セサルモノトス

四、契約書ハ別紙ノ様式ニ依ルモノトス(契約書略ス)

五、借入ヲナシタル組合又ハ聯合會ハ貸付年限中毎年通常總會ニ於テ承認シタル事業報告書、財産目錄、貸借借照表ヲ遲滞ナク同行ニ提出スルモノトス

第三條 組合又ハ聯合會カ前條ノ貸付條件ニ隨ヒ本會ノ仲介ニ依リ借入ヲナサントスルトキハ別紙ノ様式ニ依リ借入申込書ニ定款、財産目錄、貸借對照表、事業報告書ヲ添へ支會ヲ經テ本會ニ差出スヘク支會ノ設立ナキ地方ニ於テハ直サニ本會ニ差出スヘシ

訓令及通牒

第四條 支會ニ於テ組合又ハ聯合會ヨリ前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ
産業組合信用調査規定ニ從ヒ産業組合信用調査書ヲ作成シテ借入申
込ニ必要ナル書類ト共ニ本會ニ送付スヘシ
前條ノ規定ニ依リ本會カ直接ニ受ケタル申込ニ付テハ本會ハ別ニ定
ムル方法ニ從ヒ調査ヲ行フモノトス

第五條 本會カ日本勸業銀行ノ協議ニ係ル借入申込書類ヲ支會ニ送付
シタルトキハ支會ハ前條第一項ニ準シ意見ヲ付シテ本會ニ回付スヘ
シ

第六條 前二條ノ規定ニ依リ支會ニ送付スヘキ書類ハ成可ク取纏メテ
組合及聯合會ノ資金必要時期二ケ月以前ニ本會ニ到達セシムヘシ

第七條 本會ハ前條ノ書類及第四條第一項ノ調査書ニ意見ヲ附シ日本
勸業銀行ニ送付スルモノトス

第八條 日本勸業銀行ノ貸付及拒絕ニ付キ本會カ同行ヨリ通知ヲ受ケ
タルトキハ本會ハ遲滞ナク支會ニ通知シ支會ハ組合又ハ聯合會ニ通

知スルモノトス

支會ノ設立ナキ地方ニ於テハ本會ヨリ直チニ組合又ハ聯合會ニ通知
スルモノトス

産業組合調査規定 (中央會ニ於テ作成シ勸業
銀行ノ承認ヲ經タルモノ)

第一條 支會ハ産業組合資金仲介規定第四條ノ場合ニ於テハ借入ヲ申
込ミタル組合又ハ聯合會ノ最近ノ事實ニ付キ少クトモ左ノ事項ヲ調
査スヘシ

- 一、經過セル事業年度
- 二、組合員又ハ所屬組合ノ數
- 三、組織ノ種類及保証責任ノ場合ニハ保証金ノ總額無限責任ノ場合
ニハ組合員ノ資産ノ見込總額
- 四、財産目録及貸借對照表
- 五、少クトモ過去三年間ニ於ケル事業ノ狀況資金集散ノ狀況及損益
計算

訓令及通牒

六、從前ノ借入金額及償還ノ正否

七、事務ノ整理

八、理事監事ノ信用及組合員全体ノ德風

九、借入レントスル資金ノ運用及償還ニ關スル方法ノ適否

第二條 前條第九號ノ場合ニ在リテハ
イ 固定資金又ハ流通資金ノ場合ニ在リテハ用途設計又ハ數量豫算
損益ノ見込等

ロ 舊債借換ノ場合ニ在リテハ舊債ノ性質債權者毎ノ金額利率擔保
ノ有無償還ノ方法等ヲ調査スヘシ但シ信用組合又ハ其聯合會カ
組合員又ハ所屬組合ニ資金ヲ貸付スルトキハ各組合員又ハ所屬
組合ニ關スル事項マテモ之ヲ行フ

第三條 支會ハ第一條ノ場合ニ在リテハ組合又ハ聯合會ニ付其都度實
地調査ヲ行フヘシ但常時調査ヲナシ適當材料備ハレルモノアルトキ
ハ之ヲ以テ實地調査ニ代フルコトヲ得

第四條 支會ハ第一條ノ調査ヲ了リタルトキハ左ノ標準ニヨリ借入金
額ヲ査定スヘシ

一、有限責任組合又ハ有限責任聯合會ニアリテハ拂込濟出資額及積
立金ノ合計額ノ範圍内

二、保証責任組合又ハ保証責任ノ聯合會ニアリテハ拂込濟出資額及
積立金ノ和ヲ基礎トシ組合ノ状態ニ應シ該金額ト之カ半額トノ
合計額ヲ以テ最高限度トスル範圍内但シ其ノ限度ハ拂込濟出資
額及積立金ノ和ト保証金額ノ半額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得
ス

三、無限責任組合ニ在リテハ拂込濟出資額及積立金ノ合計額ヲ基礎
トシ組合ノ状態ニ應シ該金額ノ三倍ヲ以テ最高限度トスル範圍
内

四、組合又ハ聯合會ニ於テ現ニ借入金アルトキハ前各號ノ金額ヨリ
之ヲ減ス但シ新ニ借入レトスル資金ヲ組合ノ舊債借換ノ目的ナ
訓令及通牒

ルトキハ其金額ニ就テハ之ヲ減スルヲ要セス
前項ノ査定金額ハ個人保証若クハ擔保ヲ提供シタルトキハ其ノ
保証又ハ擔保ノ狀況ニ鑑ミ相當ノ増額ヲナスコトヲ得ルモノト
ス

第五條 支會ハ本規定ニ依リ調査及査定ヲ終リタルトキハ別ニ指示セ
ル様式ニ從ヒ産業組合信用調査書ヲ作成スヘシ

貸付利率及借入レニ要スル費用調

一、勸業銀行直接貸付ノ場合

年賦貸付利率 償還期間中 年七分三厘

同 据置期間中 年七分五厘

定期貸付利率 年七分五厘

二、農工銀行代理貸付ノ場合

各農工銀行ノ利率ニ依ル

三、借入ニ要スル費用見積

金壹千圓借入ノ場合

金壹萬圓借入ノ場合

登記簿謄本料

二、〇〇

二、〇〇

印紙代契約高ノ萬分ノ五

五〇

五、〇〇

公証人手數料

二、〇〇

三、五〇

公正證書作成費

一、三〇

一、三〇

合 計

四、〇〇

一〇、〇〇

但シ個人保証ヲ徵スル場合ニハ保証人六名ニ付金參拾五錢宛公正證書作成費ヲ増額
ス

謄本料ハハ一枚拾錢ニシテ二枚ト見積ル

(右ハ勸業銀行直接貸付ニ要スル費用ナルモ農工銀行ノ代理貸付ニ依ルモノハ各府

縣農工銀行ニヨリ多少ノ差異アルヘシ)

借入申込書

一金

一借入ヲ要スル時期

一借入金ノ用途

一返 濟 期

一元利ノ支拂期

訓令及通牒

一借入金最高限度並届出月日
右貸付取計相成度此段申込候也

大正 年 月 日
日本勸業銀行御中

雜 項

蠶絲業ニ關スル産業組合ニ付

農商務大臣訓令 (明治三十九年十二月第
四三號農商務省訓令)

本邦ノ蠶絲業ハ漸ク以テ發達シ今日ノ盛況ヲ觀ルニ至レルハ頗ル喜フ
ヘシト雖深ク其ノ實況ヲ查察スレハ之カ經營ノ方法等ニ於テ改善ヲ加
フヘキモノ亦尠シトセス就中其ノ經濟組織ノ如キハ多クハ舊慣ヲ墨守
シ未タ著シク進步ノ實ヲ認ムル能ハサルハ甚タ遺憾トスル所ナリ
惟フニ産業組合ハ産業及經濟ノ發達ヲ圖ル爲極メテ必要ナル組織ナリ
殊ニ多數ノ小企業者共同シテ此ノ組合ヲ設立スルコトハ最ハ獎勵スヘ
キコトニ屬ス蠶絲業タルモノ事業ノ概ネ規模狹小ナルモノナルヲ以テ

此等ノモノ共同シテ此ノ組織ヲ利用スルトキハ其ノ信用ヲ鞏固ニシ事
業ノ改善ヲ致シ現時重要ノ輸出品タル生絲ヲシテ益々其ノ聲價ヲ高フ
セシメ因テ以テ其ノ産額ヲ増進セシメ其ノ效能洵ニ顯著ナルモノアル
ヘシ地方廳ハ宜シク當業者ヲ指導シ其ノ設立ヲ促シ以テ斯業ヲ改善シ
國富ノ増進ヲ致スコトニ努ムヘシ

家禽業ニ關スル産業組合ニ付

農商務大臣訓令 (明治四十年四月第
八號農商務省訓令)

家禽飼養ノ事業ハ農家ノ副業トシテ簡易ニ行ハレ且其ノ收益尠少ニア
ラサルヲ以テ之カ獎勵ニ就テハ曩ニ屢々訓示スル所アリ近頃飼養者ノ
増加ヲ見ルニ至レルモ其ノ生産ハ未タ需要ヲ充タスコト能ハス輒近海
外ヨリ輸入スル鶏卵ノ價額一年壹百萬圓ヲ超ヘ尙且漸次増加スルノ景
況ヲ呈セリ

本邦家禽業ノ萎靡振ハサル所以ヲ察スルニ在來禽種ハ劣等ニシテ採卵
用又ハ肉用トシテ不適當ナルト飼養管理方法ノ宜シカラサルトニ依リ

訓令及通牒

日飼禽者カ其ノ生産物ヲ適當ノ價格ヲ以テ販賣スルノ難キニ職由セザルハナシ故ニ斯業ノ發達ニ企圖セムニハ之ニ從事スル者ヲシテ販賣組合ヲ設立セシメ共同シテ其ノ生産物ヲ市場又ハ消費者ニ販賣セシメハ仲介者ニ利益ヲ壟斷セラル、弊ナク能ク各自ノ利益ヲ増進スルコトヲ得ム加之尙斯業ニ關シ信用組合、購買組合、生産組合ヲ設立セシメハ資金ノ融通餘財ノ貯蓄家禽及飼料ノ購買機械ノ使用等ニ利便ヲ得テ斯業ハ堅實ニ農家ノ副業ト爲スコトヲ得ヘシ

往年家禽ノ改良及其飼養獎勵ノ唱導セラル、ヤ鶏一羽數拾圓卵一顆數圓ノ高價ヲ以テ賣買スルモノアルニ至リ却テ家禽業ノ發達ヲ沮害セリ今ヤ農商務省ハ海外ヨリ禽種ヲ輸入シ之ヲ蕃殖シテ漸次一般希望者ニ頒タムトス抑々家禽ノ貴ブベキハ實益的ナルニ在リ決シテ種類ノ珍奇ニ非ス又萎體ノ美ト羽毛ノ麗トニ非ズ要スルニ其ノ純粹種ナルト雜種ナルトヲ問ハズ卵ノ多産ト肉ノ豊優トニ在ルナリ宜シク家禽業ニ關スル産業組合ノ設立ヲ獎勵スルニ際シ家禽飼養ノ目的ヲ怠ル勿カラシメ

家禽業者ヲシテ既往ノ惡轍ヲ履マズ健全ナル發達ヲ遂ケシムルコトヲ期スベシ

産業組合員名簿記載變更登録稅ノ件

(明治三十六年十二月廿三日農第一一四一號農務局長ヨリ知事ニ通牒)

今般産業組合員名簿記載事項ノ變更登記ニ付登録稅ヲ要スルヤ否ヤニ關シ別紙ノ通り司法省ト往復致候參考迄及通牒候也

農第壹〇參八六號

産業組合員名簿ノ登記ニ關シ別紙寫ノ通り長野縣知事ヨリ照會有之候處右名簿ニ關スル一切ノ登記ニ付テハ産業組合法第六條第二項但書ニ依リ當然登録稅ヲ稅除セラル、モノト被存候條事實取調ノ上可然御取計相成候様致度此段及照會候也

明治三十五年十一月四日

司法省總務長官 波多野敏直殿

農商務總務長官 安 廣 伴 一 郎

甲西第八四號 (本文法律ハ其後改正アリ)

産業組合員名簿記載ニ關シテハ産業組合法第六條第二項ニ依リ同法第十五條第二項各號ノ變更又ハ組合員加入脱退ノ場合ニ於ケル組合員名簿記載ノ變更ト雖登録稅ヲ課セサルハ勿訓令及通牒

論ノ義ト存候然ルニ長野地方裁判所ニ於テハ司法省令第二十九號產業組合登記取扱手續第十條第十二條第二項ノ場合ハ登録稅ヲ要スル趣キヲ以テ現ニ登録稅ヲ徵シツ、アリ右ノ如ク登記取扱手續ヨリ登録稅ヲ課セラル、ニ於テハ各組合ハ頗フル困難ヲ感シ產業組合ノ消長ニ偉大ノ關係ヲ及ボス様被存候條右ニ對スル御意見承知致シ度果シテ前段ノ如ク組合員名簿記載ノ變更ノ場合ト雖モ登録稅ヲ要セサル義ニ候ハ、其筋ハ御交渉相成度差掛候義モ有之候ニ付至急御回答相成度此段及照會候也

明治三十五年十月二十五日

長野縣知事

政府ニ於テ產業組合ヨリ物品購入ノ件

(三十八年九月二十七日農發第一九號農商務次官ヨリ知事ニ通牒)

本年勅令第二百一號ヲ以テ政府ニ於テ產業組合ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ爲ス時ハ隨意契約ニ依ルヲ得ルコト、定メラレ候處右勅令ハ政府カ物品購入ノ上可成生産者ト接近シ正當ノ價格ト少キ手數トニ依リ適良ノ物品ヲ得ルヲ以テ直接ノ目的ト爲スハ勿論ニ候ヘ共一方ニ於テハ產業組合ノ發達ニ資スル所以ノ有力ナル方法ニ有之候之ニ就テハ切實ニ販賣組合或ハ生産販賣組合等ノ設立經營ヲ督勵シ以テ生産者ノ利益ヲ

保護シ產業ノ進歩ヲ圖ルト共ニ奸譎者ノ之ヲ惡用スルコトナキ様防禦ヲ加フルコト必要ニ有之殊ニ組合ヨリ供給スル物品ノ品質分量價格納期等政府ノ期待スル所ニ協ハサルニ於テハ勅令ノ精神ヲ貫徹スル能ハサル義ニ候間御注意相成度右依命此段及通牒候也

產業組合ニ於テ購入スル肥料檢査ノ件

(三十九年十二月二十二日發商第二八二號第三部長ヨリ各郡市長ニ通牒)

肥料ノ共同購入ニ就テハ夫々御獎勵ノ事トハ存候得共農民ノ多數ハ品質ノ鑑定ニ暗キ爲ニ品質不良ナルモノヲ買込ムカ如キ遺憾不尠候ニ付爾後產業組合ニ限リ購入セムトスル肥料ノ成分量十貫ノ價格製造者ノ住所氏名ヲ記載セル願書ニ現品(凡二百目)ヲ添ヘテ之カ分拆ヲ願出候場合ニハ分拆ノ成績其他參考トナルヘキ事項ヲ通知可致候ニ付一般ニ周知セシメラレ度尙左記事項ノ如キハ御垂示御勸奨相成候様致度依命此段及通牒候也

追テ右ニ關スル運搬費ハ組合ノ負擔ニ付御了知相成度尙右購入時期

訓令及通牒

ハ大抵一定致候ニ付自然分拆取込ノ場合モ有之ヘキニ付少クモ購入
二十日前ニ申出候様御取計相成度併テ申進候也

一、成分購入ノ方法ヲ探ルコト

一、現品授受ノ場合ニハ量目ヲ檢スルコト

産業組合名稱ノ件 (四十二年六月十七日付收勸第三三一四號)
(内務部長ヨリ各郡市長ニ通牒)

産業組合ノ名稱中其目的ヲ示スヘキ文字トシテハ産業組合法第一條括
弧中ノ文字ヲ用フルコトヲ要シ其間ニ何等文字ノ挿入ヲ許サ、ル義ニ
有之旨主務省ヨリ特ニ注意有之候間右御了知相成度尙從來ノ組合ニシ
テ右ニ反スル名稱ヲ附スルモノハ時期ヲ見計ヒ變更方御取計相成度依
命此段及通牒候也

追テ兼營ノ組合ニ付テハ何々信用購買販賣生産組合トシ中間ニ挿入
シタル組合ノ文字ハ除クヘキモノニ有之候條爲念申添候也

産業組合名稱規定ニ關スル件

(四十二年七月十日收勸第三七七四號内務部長ヨリ各郡市長ニ通牒)

六月十七日付收勸第三三一四號ヲ以テ産業組合ノ名稱中其目的ヲ示ス
ヘキ文字ノ用例ニ付及通牒置候處追書ノ兼營組合ニ於テモ勿論中間何
等ノ文字ヲモ挿入スル能ハサル儀ニ有之候從テ「無限責任大川購買兼
營(及併ニ)販賣組合」有限責任大川毛筆販賣及原料購買組合」等ノ如キ
◎点ノ分ハ挿入シ得サル儀ニ有之候ヘ共之ニ反シ「大川有限責任毛筆
販賣購買組合」無限責任大川信用販賣組合」又ハ「有限責任信用生産組
合大川社」ト云フカ如ク有限責任ナル文字ノ前後若クハ「何々組合」ナ
ル文字ノ下ニ特權ノ名稱ヲ示スヘキ文字ヲ挿入スルハ支障無之儀ニ有
之候處該通牒ニ對シ住々質議ノ向モ有之候條爲念此段及通牒候也

組合員ガ組合ヨリ受クル配當金

ニ對スル所得稅ノ件 (四十二年九月十日收勸第四七六七號)
(内務部長ヨリ各郡市長ニ通牒)

組合員カ産業組合ヨリ受クル配當金中割戻ノ性質ヲ有スルモノハ所得
稅ヲ賦課セラル、コトナキモ所得ノ性質ヲ有スルモノニ付テハ所得稅
訓令及通牒

法第四條第三號中ノ所謂「此法律ニ依リ所得稅ヲ課セラレサル法人ヨリ受ケタル配當金」ニ該當シ第三種所得稅ヲ賦課セラルヘキモノニ有之候尤モ配當金中所得ノ性質ヲ有スルヤ否ヤハ各種組合ノ各組合員カ受クモノニ付キ審査スヘキモノニ有之候條御參考迄ニ及通牒候也

地主ガ販賣組合ニ加入スルノ件

(四十一年九月八日收勸第四七六號內務部長ヨリ各郡市長ニ通牒)

地主カ農業ニ關スル何等ノ行爲ヲナサス單ニ其所有地ヲ貸付シ其地代トシテ小作米ヲ取得スル場合ニ於テ其米ノ生産者ト云フコトヲ得サルコトハ勿論ノ儀ニ候ヘ共地主ニシテ當時其所有地ノ生産ニ付企業者ノ如ク干與シテ小作米ヲ收納スル者ハ其收納米ニ付自ラ生産シタルモノトシテ取扱候事ニ省議決定致候旨其筋ヨリ通牒有之候ニ付テハ販賣組合組合員トシテ地主ヲ加入セシムルモノニ付テハ右ニ依リ相當處理相成候様致度依命此段及通牒候也

官吏産業組合ノ役員トナルノ件

(四十一年十一月岐阜縣知事ヨリ內務大臣秘書官宛問合ニ對スル回答)

客月二十九日付農第一三二六號ヲ以テ官吏ニシテ産業組合ノ役員タラントスル者本屬長官ノ許可ヲ得ルノ議ニ付御照會ノ處産業組合ハ營利ノ目的ニテ成立スルモノニアラサルニ付許可ヲ受クルニ及ハスト存候尤モ其組合ヨリ給料ヲ得ントスル場合ニ於テハ官吏服務規律第十三條ニ據ルハ勿論ノ義ニ有之候此段及回答候也

産業組合總會開會ニ付注意ノ件

(四十一年十一月廿七日收勸第六八八四號內務部長ヨリ各郡市長ニ通牒)

各種産業組合ニ於テハ一事業年度中少クモ一回以上ノ總會ヲ開クベキ規定ニ相成居候ニ拘ハラズ創立初年ニアリテハ多クハ總會ヲ開カズ從テ産業組合法施行規則第十二號ノ借入金並ニ貸出金(信用組合ノミ)額ノ報告ヲナサズシテ事業ヲ開始シ而シテ事業報告書中ニモ之ガ記載ヲナサザル向不尠取扱上支障有之候ニ付右創立初年ニアリテハ臨時總會ヲ開キ其金額ヲ議決シ必ズ報告候様貴郡内各産業組合ニ御注意相成度訓令及通牒

此段及通牒候也

産業組合加工ノ意義ニ關スル件

(四十二年十二月十三日收勸第七三九七號内務部長ヨリ各郡市長ニ通牒)

産業組合法第一條ニ所謂加工ノ意義ニ關スル岡山縣ノ質疑ニ對シ別紙ノ通り省議決定通牒相成候旨其筋ヨリ通牒有之候ニ付及移牒候也

農第一三九六五號

明治四十二年九月十七日付商甲第八三八號ヲ以テ産業組合法第一條ニ所謂加工ノ意義ニ付キ御照會ノ件了承右加工ハ凡テ動産ニ工作ヲ加フルヲ謂ヒ其工作ノ程度如何ヲ問ハサルモノニ有之御問合セノ場合ノ凡テテ含ムモノト被解候尙加工ニ際シ相當ノ助成材料ヲ用フルハ差支無之候モ主タル材料ハ購買組合ニアリテハ其目的タル購買物件販賣組合又ハ生産組合ニ在リテハ組合員ノ生産セシ物タルヲ必要トスル義ニ有之候條左様御承知相成度依命此段及回答候也

明治四十二年十二月三日

農商務省農務局長 下 岡 忠 治

岡山縣知事 谷口留五郎殿

商甲第八三八號

照 會

明治四十一年九月十七日

農商務省農務局長 織田一殿

岡山縣知事

谷 口 留 五 郎

産業組合法ニ關シ質疑ノ件

産業組合法第一條ノ加工トハ精米製材罐詰等ノ如ク加工ノ程度低ク工程單純ナルモノヲ指ス義ト被存候處製絲製紙醸造織物製造等ノ如ク加工ノ程度高クシテ全ク原形ヲ變スルモノハ包含セサル義ニ候哉何分ノ義至急御回報相成度候

理事監事ノ任期ニ關スル件

(四十四年十月三十日亥商收第三六三七號ヲ以テ各郡市長へ通牒)

産業組合ノ理事及監事ノ任期ニ關スル定款ノ規定中「理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス」ナル規定アルトキハ其ノ變更登記ヲ爲スヘキ時期ハ後任者ノ就職シタル日ノ翌日ヨリ起算シテ二週間内ト解釋スヘキモノニ有之ニ付誤解無之様致シ度

追テ本件解釋ニ關シテハ司法省民事局ト打合濟ニ有之
右爲念通牒ス

訓令及通牒

産業組合カ加工ヲ爲ス場合ニ關スル件

(明治四十三年九月十二日成商收第三八四六號ヲ以テ各郡市長ニ通牒)

産業組合カ加工ヲ爲ス場合ニ於テハ如何ナル物品ニ如何ナル加工ヲ爲スヤニ付テハ必ス定款中ニ規定セシメラレタシ

追テ從來既ニ認可シタルモノニ付テハ將來定款ヲ變更スル際ニ於テ相當改正セシムル様致度

右通牒ス

小學校教員ノ産業組合事務補助ノ件

(四十五年一月十一日子商發第五號内務部長ヨリ各郡市長ニ通牒)

産業組合設置及經營ニ付テハ多年御勸奨ノ結果漸次發達ノ機運ニ相向ヘ來リ候處其ノ内容ニ付テハ改善ヲ要スルモノ不尠候而シテ組合員ニ自治觀念ヲ鼓吹シ德風ヲ涵養セシメンニハ勢教育ノ力ニ俟タサル可ラサルモノ有之近時組合所在地ノ小學校長又ハ首座訓導等ニシテ組合ニ加入シテ直接ニ組合ノ事業ヲ補助シ或ハ組合ノ事務ヲ補助セラル、向

モ有之右ハ最モ喜フヘキノ現象ト被認候然ルニ組合理事ニ就任ノ義ニ付特ニ申出ノ向モ有之候處右ハ職務ニ支障ナキ限リハ別ニ經伺ヲ要セス助力相成可然尤モ組合ヨリ報酬又ハ手當ヲ受ケ専心事務ニ従事セラハ、場合ハ本屬長官ノ認可ヲ受ケラレ候方可然ト被存候條右ニ依リ御取扱相成度依命此段及通牒候也

鹽小賣人ニ關スル件

(四十二年十二月二十六日成商收第 四八三六號ヲ以テ各郡市長ニ移牒)

鹽小賣人ノ指定ヲ受ケサル購買組合カ原價ニ實費ヲ加ヘタル價ヲ以テ鹽ヲ組合員ニ賣却シタル行爲ニ關スル和歌山縣知事ノ照會ニ對シ別紙ノ通り回答致シ置キ候條貴官ニ於テ同様御了知相成度

右通牒ス

43 農第一六一九一號(別紙)

明治四十三年十一月二十九日

農商務省農務局長

和歌山縣知事殿

十月一日附内五第四三七二號照會鹽小賣人ノ指定ヲ受ケサル購買組合カ鹽小賣人ヨリ購

訓令及通牒

買シ購入原價ニ運賃及其ノ他ノ實費ヲ加ヘ組合員ニ分配云々ノ件ハ差支無之義ト御了知相成度

追テ右ハ專賣局長官ト打合濟ニ付爲念申添候也

右回答ス

(參照)

內五第四三七二號

照會

明治四十三年十月一日

農商務省農務局長 下岡忠治殿

和歌山縣知事 川上親晴

購買組合ニ於テ鹽ヲ取扱フトキハ指定小賣人ノ免許ヲ受クルコトヲ得ルニ付可成之カ免許ヲ受クヘキ旨注意ヲ加ヘ居リ候處無免許ニテ指定小賣人ヨリ之ヲ購入シ運賃其ノ他ノ實費トシテ一俵ニ付壹錢内外ヲ原價ニ加ヘ即チ實費ニ依リ之ヲ組合員ニ分配シタルニ專賣法違反トシテ檢舉セラレタルモノ有之候ヘ共如斯ハ專賣法上ノ販賣ト異リ違反ト認ムヘキモノニ無之様被存候ヘ共右ニ對スル貴局ノ御意見如何ニ候哉承知致シ度候間何分ノ儀至急御回示相成度

購買組合肥料販賣免許ニ關スル件

(甲號)

農受第一六一九號

二月五日付農甲第八〇號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ貴見ノ如ク産業組合ニ於テ肥料ヲ購入シ組合員ニ配付スルモ營業ヲ爲スモノニ無之從テ肥料取締法ニ依リテ販賣ノ免許ヲ受クルヲ要セサル儀ニ有之候條左様御承知相成度此段及回答候也

明治四十一年三月七日

農務局長

愛媛縣知事殿

(乙號)

農甲第八〇號

産業ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルノ目的ヲ以テ設立セル購買組合ニ於テ組合員ノ需用ヲ充タスカ爲メ肥料ヲ購入シテ之レヲ組合員ニ分配スル購買組合ハ之レヲ營業者ト認ムヘキモノニ無之從テ肥料取締法ノ規定ニ據リ販賣ノ免許ヲ受クルヲ要セサル儀ト解釋シ差支無之ト被存候得共爲念一應御意見承知致度此段及照會候也

明治四十一年二月五日

愛媛縣知事

農務局長殿

產業組合模範定款

三、産業組合模範定款

農商務省ノ調査ニ係ル各種模範定款左ノ如シ
無限責任組織ノ信用組合定款ハ明治三十三年十二月一日官報ニ掲ケテ之ヲ公示セルモ
四十二年産業組合法ノ改正セラレタルニ因リ右改正法ニ基キ茲ニ之ヲ掲ク

(一) 無限責任何々信用組合定款

第一章 總 則

(農商務省調査) 明治四十三年三月十六日官報
第八〇一六號

第一條

本組合ハ組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及ヒ貯金ノ便
宜ヲ得セシムルヲ以テ目的トス

本組合ハ加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フ

第二條

本組合ハ無限責任何々信用組合ト稱ス

第三條

本組合ノ組織ハ無限責任トス

第四條

本組合ノ區域ハ何縣何郡何村トス

第五條

本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

産業組合模範定款

第六條 組合員ハ本組合ノ區域内ニ住居シ且獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限
ル加入豫約者ノ資格亦同シ

第七條 組合員又ハ加入豫約者ハ他ノ信用組合ニ加入シ又ハ加入ノ豫
約ヲ爲スコトヲ得ス

第八條 本組合ノ存立時期ハ三十箇年トス

第九條 本組合ノ財産ニ付組合員ノ有スル持分ハ其ノ拂込濟出資額ニ
應スルモノトス

第二章 出資及積立金

第十條 出資一口ノ金額ハ金十圓トス

第十一條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金一圓トス但シ第四十八

條第三項ノ場合ハ此ノ限ニアラス

第十二條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツル

モノ、外出資一口毎ニ左ノ各號ノ一ニ依リ出資ノ拂込ヲ爲スモノトス

一 每月末金二十錢宛拂込ムコト

二 毎年一月末及六月末金一圓宛拂込ムコト

三 第一回拂込後一箇年内ニ全額ヲ拂込ムコト

第十三條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘ

キ金額ノ二百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徴收ス

第十四條 産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テ爲

スヘキ産業組合原簿ノ記載ノ變更ハ毎年十二月三十一日ニ之ヲ取纏

メテ其ノ後二週間内ニ之ヲ爲スモノトス

第十五條 本組合ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ

四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十六條 過怠金及第五十四條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘

額ハ之ヲ準備金ニ組入ル、モノトス

第十七條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルト

キハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス

第十八條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時

産業組合摸範定款

ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十九條 準備金及特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若クハ地方債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 機關

第二十條 本組合ニ理事三名、監事二名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

第二十一條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

組合長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フ

モノトス

第二十二條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會開會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ召集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス
總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ通常總會及ヒ臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ
- 三 組合員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ召集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ召集ヲ請求シタルトキ

産業組合模範定款

第二十四條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十五條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 總會ノ議長ハ第二十三條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外組合長之ニ當タル組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

第二十三條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當タル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十七條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十八條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十九條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十條 本組合ニ信用評定委員三名ヲ置キ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

信用評定委員ノ任期ハ一箇年トス但再選ヲ妨ケス

第三十一條 信用評定委員ハ總會ノ決議ニ依リ何時ニテモ解任スルコトヲ得

信用評定委員ノ選任及解任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ依ル

第三十二條 信用評定委員ハ一月及ヒ七月定會ヲ開キ組合員各自ノ信用ヲ評定シ信用程度表ヲ作成ス

信用程度表ハ理事之ヲ保管シ役員ノ外閱覽スルコトヲ得サルモノトス

第三十三條 理事、監事及信用評定委員ハ名譽職トス

産業組合模範定款

理事、監事及ヒ信用評定委員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第三十四條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及ヒ監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

第三十五條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十六條 組合員カ貸付ヲ請求シタルトキハ理事ハ信用程度表及貸付金ノ用途ヲ調査シ貸付クヘキ金額及其ノ方法ヲ定ムルモノトス

第三十七條 貸付金ノ辨濟期限ハ一箇年内ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三箇年以内ニ於テ之ヲ定ムコトヲ得

第三十八條 貸付金ノ辨濟ニ付テノ遅延利息ハ貸付金ノ利率ニ依ル

第三十九條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノアリト認ムルトキハ組合員ニ對シ期限前ト雖辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

トヲ得

第四十條 貯金ハ一回金一錢以上トス
加入豫約者ノ貯金ハ一人ニ付資一口ノ金額ヲ超ユルコトヲ得ス

貯金ノ利息ハ毎年六月末及十二月末ノ兩度ニ之ヲ元本ニ組入ル、モ
ノトス

第四十一條 貸付金及ヒ貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事之ヲ定ム

- 一 貸付金ニ付テハ年一割以下
- 二 貯金ニ付テハ年七分以下

第四十二條 組合ノ餘裕金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外

他ニ之ヲ預入ル、コトヲ得ス

第四十三條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第四十四條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サ

レハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

産業組合模範定款

剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年五分以下トス

第四十五條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第四十六條 組合ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ各組合員間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ其ノ出資額ニ應スルモノトス脱退シタル組合員ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入及脱退

第四十七條 組合ニ加入セムトスルトキハ申込書ヲ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込書ヲ受ケタルトキハ書面ヲ以テ總組合員ノ同意ヲ求ムルコトヲ要ス

總組合員ノ同意アリタルトキハ理事ハ其ノ旨申込人ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ効力ハ第四十八條第三項、第五十條及第五十二條ノ場合ヲ除

クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第四十八條 加入豫約ノ申込アリタルトキハ理事ハ其ノ許否ヲ決シ申込人ニ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

加入豫約者ノ貯金額カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小額ニ達シタル後ニ非サレハ之ヲ組合ニ加入セシムルコトヲ得ス

第四十七條ノ規定ハ加入豫約者ヲ組合ニ加入セシムル場合ニ準用ス但シ此ノ場合ニ於テ加入豫約者ノ貯金ハ其ノ全部ヲ出資拂込ニ充ツルコトヲ要ス

第四十九條 加入豫約者カ第五十三條第一項第二號又ハ第三號ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ豫約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第五十條 持分ヲ讓渡サントスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスル者カ組合員ニ非サルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外第四十七條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス

第五十一條 組合員カ脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末

産業組合模範定款

十箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十二條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ遲滯ナク加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サスシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス

第五十三條 組合員カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一 出資ノ拂込、過怠金ノ納付、貸付金ノ辨濟又ハ利息ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ

二 組合ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

三 犯罪其他ノ行爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第五十四條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但シ死亡禁治産其ノ他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ依リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

第七章 解散

第五十五條 組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章 附則

第五十六條 組合設立當時ノ理事、監事及信用評定委員ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
何	何	何	何	何	何	何	何
某	某	某	某	某	某	某	某

産業組合模範定款

(二) 有限責任何々購買組合定款

(農商務省農務局調査)
明治三十四年十二月一日
官報第五二二六號登載

第一章 總 則

- 第一條 本組合ハ農事及ヒ生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルヲ以テ目的ト爲ス
- 第二條 本組合ハ有限責任何々購買組合ト稱ス
- 第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス
- 第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村及ヒ何村トス
- 第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク
- 第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住居シ且獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル
- 第七條 本組合ノ存立時期ハ二十箇年トス
- 第八條 組合財産ニ對スル組合員ノ權利ハ特別積立金ニ付キテハ組合

ヨリ購買シタル物品ノ價額、其他ノ財産ニ付キテハ拂込濟出資額ニ應スルモノトス

第二章 出資及ヒ準備金

- 第九條 出資一口ノ金額ハ金拾五圓トス
- 第十條 出資ノ第一回拂込金額ハ一口ニ付金壹圓五拾錢トス
- 第十一條 第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ左ノ各號ノ一ニ依リ出資ノ拂込ヲ爲スコトヲ要ス
 - 一 出資各口ニ付キ毎月末金參拾錢以上拂込ムコト
 - 二 出資各口ニ付キ毎年一月末及六月末金壹圓五拾錢以上宛拂込ムコト
 - 三 第一回拂込後一箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコト

- 第十二條 組合員其出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付キ其拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一二當タル過怠金ヲ徵收ス
- 第十三條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其額ニ達スル迄每事業年

産業組合模範定款

度ノ剩餘金ノ四分ノ一ヲ積立ツルモノトス

第十四條 加入金、過怠金及ヒ第四十八條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス

第十五條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額及ヒ組合員ニ配當スヘキ金額ヲ控除シテ尙ホ殘餘アルトキハ之ヲ特別配當金及ヒ特別積立金ト爲スモノトス

第十六條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ議決ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ使用スルコトヲ得

第十七條 準備金及ヒ特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十八條 本組合ニ理事及ヒ監事各三名ヲ置ク
理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但再選ヲ妨ケス

補缺選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ニ於テ補缺選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ其補缺選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及ヒ臨時總會ノ二種トス
通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三 總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及ヒ其招集ノ理由ヲ示産業組合摸範定款

シテ請求シタルトキ

●一八

第二十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

第二十四條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當タル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但總會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十五條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十六條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十七條 理事及ヒ監事ハ名譽職トス

理事及ヒ監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十八條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス
書記ハ理事及ヒ監事ノ命ヲ承ケテ庶務ニ従事ス

第二十九條 理事ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

第四章 事業ノ執行

第三十條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十一條 本組合ニ於テ取扱フ物品左ノ如シ

- 一 肥料、種苗、農具、家畜、蠶種
- 二 鹽、油、紙
- 三 其他總會ノ決議ヲ經タル物品

第三十二條 理事ハ組合員ノ需要ヲ調査シ又ハ其注文ニ應シ取扱物品ヲ便宜購買スルモノトス

第三十三條 組合員ニ賣却スル物品ノ代價ハ市價ニ依ル
産業組合模範定款

●一九

第三十四條 理事ハ必要アルトキハ時期ヲ指定シテ組合員ニ注文物品ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第三十五條 組合員組合ヨリ物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

第三十六條 組合員ハ物品引取ト同時ニ其代金ヲ仕拂フコトヲ要ス但止ムコトヲ得サル事由アルトキハ六箇月ヲ超ヘサル期間代金支拂ノ延期ヲ請求スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ利息ヲ附スルモノトス其利率ハ理事之ヲ定ム

第三十七條 理事代金仕拂ノ延期ヲ承諾スル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ組合員ヲシテ保證人ヲ立テシムルコトヲ得

第三十八條 理事ハ組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若シクハ一個人ニ之ヲ預入ルコトヲ得

第三十九條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分及ヒ損失填補

第四十條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當ハ組合員ノ持分ニ應スルモノトス
前項ノ配當ノ率ハ年四分以下トス

第四十一條 特別配當金ハ組合員カ其事業年度内ニ購買シタル物品ノ價額ニ應シテ之ヲ配當ス但其金額ハ第十五條ノ剩餘金ノ十分ノ七トス

第四十二條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及ヒ脱退

第四十三條 新ニ組合員タラントスル者ハ申込書ニ加入金五十錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其旨加入者ニ通知シ出資第一回
産業組合摸範定款

ノ拂込ヲ爲サメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第四十四條 組合員持分ヲ讓渡サントスルトキハ總會ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス

第四十五條 組合員脱退セントスルトキハ少クトモ其事業年度末十箇月前ニ其旨ヲ理事ニ報告スルコトヲ要ス

第四十六條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直チニ組合員タラントスルトキハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第四十七條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込及ヒ購買物品ノ代金ノ支拂ヲ怠リ期日後一箇月以内ニ其義務ヲ履行セサルトキ
- 二 組合ヨリ購買シタル物品ヲ轉賣シタルトキ
- 三 組合ノ事業ヲ妨クルノ行爲アリタルトキ

四 犯罪其他ノ行爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第四十八條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但死亡、禁治産其他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認めタル事由ニ因リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

第七章 組合ノ解散

第四十九條 本組合解散シタルトキハ理事其清算人ト爲ル

第八章 附 則

第五十條 本組合設立當時ノ理事及ヒ監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理 事	理 事	理 事	理 事
何 何	何 何	何 何	何 何
某 某	某 某	某 某	某 某

監事 何某
監事 何某

(三) 有限責任何々販賣組合定款

(農商務省農務局調査)
明治三十四年十一月三十日
官報第五五二四號登載

第一章 總 則

- 第一條 本組合ハ組合員ノ委托ヲ受ケ其生産シタル農産物ヲ販賣スルヲ以テ目的ト爲ス
- 第二條 本組合ハ有限責任何々販賣組合ト稱ス
- 第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス
- 第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村、何村、何村又ヒ何町トス
- 第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何町何番地ニ置ク
- 第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住居シ且獨立ノ生計ヲ營ム

者ニ限ル

第七條 組合財産ニ對スル組合員ノ權利ハ特別積立金ニ付キテハ販賣シタル物品ノ價額其他ノ財産ニ付キテハ拂込濟出資額ニ應スルモノトス

第二章 出資及準備金

- 第八條 出資一口ノ金額ハ金貳拾圓トス
- 第九條 出資ノ第一回拂込金額ハ一口ニ付キ金參圓トス
第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資各口ニ付キ毎年二月末及ヒ八月末金貳圓以上宛拂込ムモノトス
- 第十條 組合員其出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一二當タル過怠金ヲ徵收ス
- 第十一條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ二分ノ一ヲ積立ツルモノトス
- 第十二條 加入金、過怠金及ヒ第五十一條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタ

産業組合模範定款

ル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス

第十三條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額及ヒ組合員ニ配當スヘキ金額ヲ控除シテ尙ホ殘餘アルトキハ之ヲ特別積立金ト爲シ損失填補ニ充ツルモノトス

第十四條 準備金ハ總會ノ承諾ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十五條 本組合ニ理事三名、監事二名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但再選ヲ妨ケス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス
理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其職務ヲ行フモノトス

第十七條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス
總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第十八條 總會ハ通常總會及ヒ臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三 總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及ヒ其ノ招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第十九條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十條 總會ハ總組合員ノ貳分ノ一以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

第二十一條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當タル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但總會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十二條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及ヒ監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十三條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十四條 理事ノ内一名ハ有給職トシ其他ノ理事及ヒ監事ハ名譽職トス

理事及ヒ監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十五條 本組合ニ検査人何名ヲ置キ總會ノ承認ヲ經テ理事之ヲ任免ス

検査人ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ品等及ヒ數量ノ査定其他技術上ノ事務ニ従事ス

第二十六條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス
書記ハ理事及ヒ監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第四章 事業ノ執行

第二十七條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第二十八條 本組合ニ於テ取扱フ物品ハ米、麥、大豆、菜種及ヒ柑橘トス但總會ノ決議ニ依リ他ノ農産物ヲ取扱フコトヲ得

第二十九條 組合員ハ理事ノ承認ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セスシテ前條ノ物品ヲ賣却スルコトヲ得ス

第三十條 理事ハ適宜ノ時期ニ於テ各組合員ノ生産物ニ付キ報告ヲ徴シ又ハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 組合カ組合員ヨリ物品ヲ受取リタルトキハ其品等及ヒ數

産業組合模範定款

量ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス
品等査定ノ標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 組合員ハ其賣却セントスル物品ニ付キ代價又ハ賣却ノ時期ヲ指定スルコトヲ得

第三十三條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但其額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付參錢五厘以内ニ於テ理事ノ定メタル日步ヲ支拂フコトヲ要ス

第三十四條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付キ總會ノ定メタル步合金ヲ收納ス

第三十五條 一箇月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ラス毎月末各品等ニ付キ之ヲ計算シ組合員カ委托シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ分配スルモノトス

假渡ヲ受ケタル組合員ニ付キテハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

第三十六條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハサリシ物品ニ付キテハ其後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其代金ヲ配分スルモノトス

第三十七條 受取物品中組合ニ於テ調製、俵裝其他特殊ノ勞費ヲ加ヘタルモノニ付キテハ別ニ手数料ヲ徴シ代金配分ノ時之ヲ差引クモノトス

前項ノ手数料ノ率ハ總會ノ承認ヲ經テ理事之ヲ定ム

第三十八條 本組合ハ何停車場附近ニ倉庫ヲ置ク

第三十九條 物品受取後ノ危険ハ組合ノ負擔トス

第四十條 組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ之ヲ預入ル、モノトス

第四十一條 左ニ掲ケタル事項ハ總會ノ決議ヲ經ルニ非サレハ之ヲ行産業組合模範定款

フコトヲ得ス

一 不動産ノ取得、讓渡及ヒ其他ノ處分

二 訴訟行爲

第四十二條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分及ヒ損失填補

第四十三條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ各組合員ノ拂込濟出資額ニ應シ年五分以下トス

第四十四條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第四十五條 新ニ組合員タラントスル者ハ申込書ニ加入金ヲ添へ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其旨加入者ニ通知シ出資ノ第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第四十六條 第一年度ノ加入金ハ一口ニ付キ金貳拾錢トシ以後ハ毎年通常總會ニ於テ組合財産ノ増減ニ應シ其額ヲ定ム

第四十七條 組合員持分ヲ讓渡サントスルトキハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス

持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ加入金及ヒ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第四十五條ノ規定ヲ準用ス

第四十八條 組合員脱退セントスルトキハ少クトモ其事業年度末六箇月前ニ其旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十九條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直チニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サスシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フ者ト看做ス此場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

産業組合模範定款

第五十條 組合員左ノ事由ノ一ニ當タルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一 出資ノ拂込ヲ怠リ期限後一箇月以内ニ其義務ヲ履行セサルトキ

二 自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルトキ

三 第二十九條ノ規定ニ違背シテ物品ヲ賣却シタルトキ

四 組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ

五 犯罪其他ノ所爲ニ因リ信用ヲ失ヒタルトキ

第五十一條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其拂込濟出資額ニ止ルモノトス但死亡、禁治産其他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ因リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

第七章 解散

第五十二條 本組合解散シタルトキハ理事其清算人ト爲ル

第八章 附則

第五十三條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某
監事	何	某
監事	何	某

(四) 無限責任何々生産組合定款

(農商務省調査)
明治三十四年十一月三十日
官報第五五二四號登載

第一章 總則

第一條 本組合ハ蠶室蠶具消毒器、繭乾燥室及ヒ繭貯藏庫ヲ備ヘ之ヲ産業組合模範定款

組合員ニ使用セシムルヲ以テ目的ト爲ス

第二條 本組合ハ無限責任何々生産組合ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ無限責任トス

第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住居シ且獨立ノ生計ヲ營ム

者ニ限ル

第七條 組合財産ニ對スル組合員ノ權利ハ拂込濟出資額ニ應スルモノトス

トス

第二章 出資及ヒ準備金

第八條 出資一口ノ金額ハ金貳拾圓トス

第九條 出資ノ第一回拂込金額ハ一口ニ付キ金五圓トス但新ニ加入スル者ニ付キテハ現在組合員ノ拂込濟出資額ト同額トス

第十條 第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外組合員ハ出

資各口ニ付キ毎年八月中ニ金五圓ヲ拂込ムコトヲ要ス

第十一條 組合員其出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付キ其拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徵收ス

第十二條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其額ニ達スル迄每事業年度剩餘金ノ四分ノ一ヲ積立ツルモノトス

第十三條 加入金、過怠金及ヒ第四十五條ニ依リテ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ルルモノトス

第十四條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル殘額ハ少クトモ二分ノ一ヲ特別積立金トシテ之ヲ積立ツルモノトス

特別積立金ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費ノ消却及ヒ總會ノ決議ニ依リ臨時ノ支出ニ使用スルモノトス

第十五條 準備金及ヒ特別積立金ハ總會ノ承諾ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十六條 本組合ニ理事三名、監事一名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第十七條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但再選ヲ

妨ケス

補缺選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事又ハ監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其職務ヲ行フ

モノトス

第十八條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生シタルトキ

ハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ニ於テ補缺選舉

ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補缺選舉ヲ

爲スコトヲ要ス

第十九條 總會ハ通常總會及ヒ臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三 總組員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及ヒ招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第二十條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ總組員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

第二十二條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當タル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但總會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席組員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

産業組合模範定款

第二十三條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス
第二十四條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及ヒ監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十五條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十六條 理事及ヒ監事ハ名譽職トス

理事及ヒ監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十七條 理事ハ總會ノ決議ヲ經テ技術員ヲ任用スルコトヲ得

第二十八條 本組合ニ書記二名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及ヒ監事ノ命ヲ承ケテ庶務ニ従事ス

第四章 事業ノ執行

第二十九條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十條 消毒器、乾燥室又ハ貯藏庫ヲ使用セントスルトキハ組合員ハ使用ノ期日及ヒ時間ヲ記載シテ理事ニ申出ルコトヲ要ス但消毒器

ヲ使用セントスルトキハ蠶室ノ面積並蠶具ノ數、乾燥室又ハ貯藏庫ヲ使用セントスルトキハ繭ノ數量ヲ附記スルコトヲ要ス
理事ハ前項ノ申出ニ依リ各組合員ノ使用ノ期日及ヒ時間ヲ定メテ豫メ通知スルコトヲ要ス

第三十一條 組合員ハ出資一口毎ニ一事業年度内乾燥室ヲ使用シテ生繭二十貫迄ヲ乾燥シ及モ貯藏庫ヲ使用シテ乾燥七貫迄ヲ貯藏スルコトヲ得

第三十二條 組合員消毒器、乾燥室又ハ貯藏庫ヲ使用シタルトキハ其使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

消毒器附屬ノ藥品ニ付キテハ別ニ實費ヲ支拂フコトヲ要ス

第三十三條 前條ノ使用料及ヒ實費ハ使用ヲ終リタル後一箇月以内ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

組合員前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付キ其支拂フヘキ金額ノ千分ノ三ニ當タル過怠金ヲ徴收ス

産業組合摸範定款

第三十四條 組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一
個人ニ之ヲ預入ル、モノトス

第三十五條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム但使用料ニ關スル
規定ハ總會ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第五章 剩餘金處分及ヒ損失分擔

第三十六條 剩餘金ハ準備金及ヒ特別積立金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除
シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ各組合員ノ出資額ニ應シ年五分以下トス

第三十七條 組合財産カ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ルサルトキハ組合
員ハ出資額ニ應シ損失ヲ分擔スルモノトス脱退シタル組合員ノ損失
分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入及ヒ脱退

第三十八條 新ニ組合員タラントスル者ハ毎年一月乃至三月中ニ加入
申込書ヲ理事ニ差出スコトヲ要ス

第三十九條 新ニ加入シタル組合員ハ加入金ヲ差出スコトヲ要ス
加入金額ハ前事業年度末ニ於ケル各組合員ノ出資ニ對スル持分額ヨ
リ其拂込済出資額ヲ控除シタル額ニ依リ出資一口毎ニ之ヲ定ム

第四十條 理事加入申込書ヲ受ケタルトキハ書面ヲ以テ總組合員ノ同
意ヲ求ムルコトヲ要ス

總組合員ノ同意アリタルトキハ理事ハ其旨加入者ニ通知シ出資及ヒ
加入金ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス
理事ハ豫メ定メタル利息ノ支拂ヲ約セシメテ二箇年以内前項ノ拂込
ノ延期ヲ許諾スルコトヲ得但出資金額拾圓、加入金額五圓ニ滿タサ
ルトキハ此限ニ在ラス

第四十一條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サントスル者アル場合ニハ理事ハ
讓受人カ組合員ナルトキハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ承諾シ讓受人カ組
合員ニ非サル者ナルトキハ書面ヲ以テ總組合員ノ同意ヲ求メ其同意
アリタル後直チニ其旨讓渡人及ヒ讓受人ニ通知シ且ツ組合員名簿ニ

記載ヲ爲スコトヲ要ス

第四十二條 組合員脫退セントスルトキハ少クトモ其事業年度末十箇月前ニ其旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十三條 死亡ニ依リ脫退シタル組合員ノ相續人カ直チニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サスシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス此場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第四十四條 組合員左ノ事由ノ一ニ當タルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資、加入金ノ拂込又ハ使用料實費ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月以内ニ其義務ヲ履行セザルトキ
 - 二 組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ
 - 三 犯罪其他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ
- 第四十五條 組合員脫退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其拂込濟出資額

ニ止ムルモノトス

第七章 組合ノ解散

第四十六條 本組合解散シタルトキハ理事其清算人ト爲ル

第八章 附 則

第四十七條 本組合設立當時ノ理事及ヒ監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理 事	何 某
理 事	何 某
理 事	何 某
監 事	何 某

(五) 有限責任何々販賣組合 (産業組合)

法第三十八條ノ二ニ依リ總代會ヲ

産業組合模範定款

設クルモノノ定款

(農商務省調査)
明治三十九年八月十七日
官報第六九四一號登載

第一章 總 則

(普通ノ販賣組合摸範定款ニ依ルベシ)

第二章 出資及準備金

(同 前)

第三章 組合ノ機關

第十五條 本組合ニ理事五名、監事二名ヲ置ク

理事ハ組合長副組合長各一名ヲ互選ス

第十六條 組合長ハ組合ノ事務ヲ總理ス
副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第十七條 組合長ハ左ノ區分ニ從ヒ理事ヲ指定シテ組合ノ事務ヲ分掌
セシム

一 物品ノ受入保管

二 物品ノ數量及品等ノ檢定

三 物品ノ販賣

四 會計及庶務

第十八條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選
ヲ妨ケス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス
理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フ
モノトス

第十九條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルト
キハ通常總代會ヲ埃ツコト能ハサル場合ニ限り臨時總代會ニ於テ補
闕選舉ヲ爲スモノトス

總代會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選
舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條 理事及監事ハ名譽職トス

産業組合摸範定款

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十一條 本組合ハ産業組合法第三十八條ノニ依リ總代會ヲ設ク

第二十二條 總代ノ員數ハ何人トシ左ノ選出區域内ニ於ケル組合員ニ

於テ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ各一人ヲ互選ス

一 何村大字何

二 何村

三 何町大字何

四 何

理事、監事及本組合ノ事務員ハ總代タルコトヲ得ス但シ世話掛ハ此

ノ限ニ在ラス

第二十三條 總代ノ選舉ハ理事ノ指定シタル一人又ハ數人ノ組合員之

ヲ管理シ組合員中ヨリ管理者ノ指定シタル二人以上ノ立會人ノ立會

ヲ以テ之ヲ行フ

第二十四條 總代選舉ノ方法ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル

管理者ハ總代選舉ノ狀況ヲ記錄シ之ヲ理事ニ報告スヘシ

第二十五條 總代ノ任期ハ二箇年トス但シ互選ヲ妨ケス

辭任其他ノ事由ニ因リ總代ニ闕員ヲ生シタルトキハ遲滞ナク補闕選
舉ヲ爲スモノトス

第十八條第二項第三項及第二十條ノ規定ハ總代ニ之ヲ準用ス

第二十六條 總代ハ其ノ選出區域内ニ於ケル組合員三分ノ二以上ノ同
意ヲ以テ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得

第十九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 總代會ハ通常總代會及臨時總代會ノ二種トス

通常總代會ハ毎年一回何月之ヲ開ク

臨時總代會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 總代又ハ組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ
示シテ請求シタルトキ

第二十八條 總代會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ總代ニ之ヲ

産業組合模範定款

通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ヲ記名スルコトヲ要ス

第二十九條 總代會ハ總代ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

總代會ノ決議ハ出席シタル總代ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事及監事ノ選任及解任、定款ノ變更及除名ノ決議ハ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十條 總代會ノ議長ハ組合長又ハ副組合長之ニ當ル組合長、副組合長共ニ事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但シ總代會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席總代中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第三十一條 總代ハ二人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十二條 總代會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十三條 總代會ノ議事ニ關スル細則ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

第三十四條

解散又ハ合併ノ議決ヲ爲サムトスルトキハ總會ヲ招集ス
總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス但シ其ノ決議ハ出席シタル組合員ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス
第三十五條 本組合ニ左ノ事務員ヲ置ク

一 検査人何名

二 書記何名

三 世話掛何名

事務員ハ組合長之ヲ任免ス但シ検査人ニ在リテハ理事ノ合議ヲ要ス
第三十六條 検査人ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ數量及品等ノ檢定其ノ他技術上ノ事務ニ従事ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

世話掛ハ組合業務ノ執行上必要アル場合ニ總代選出區域毎ニ組合員中ヨリ一人又ハ數人ヲ選任シ其區域内ノ事務ヲ掌ラシム

産業組合摸範定款

第四章 事業ノ執行

(普通ノ販賣組合摸範定款ニ依ルヘシ)

第五章 剩餘金處分及損失填補

(同 前)

第六章 加入及脱退

(同 前)

第七章 解散

(同 前)

第八章 附則

(同 前)

蠶絲業ニ關スル産業組合中購買組合ハ蠶種、種苗、肥料、農蠶具、蠶病消毒用器具又ハ藥品等ノ購入ニ、生産組合ハ蠶室、蠶病消毒用器具、殺蛹若ハ乾繭装置、蠶種若ハ繭貯藏装置等ノ使用ニ又ハ繭ノ加工ニ販賣組合ハ繭、蠶絲、蠶種等ノ販賣ニ(加工シテ販賣スル場合アリ)、信用組合ハ蠶絲業ニ要スル資金ノ融通ニ及零碎ナル餘財ノ貯蓄ニ、購買組合若ハ販賣組合ト兼營シ必要ナル資金ノ融通ニ及生産組合ト兼營シテ貯蓄金ノ利用ニ應用スルヲ

得ヘシ其ノ何レノ組合ヲ設クヘキカノ問題ハ地方ノ事情及蠶絲家ノ業體ニ依リ一律ヲ以テ論シ難シ依テ左ニ三種ノ場合ヲ想像シテ定款ヲ作レリ

- 一 養蠶ヲ爲シ産繭ヲ乾燥シ販賣セントスル養蠶家ノ設立スル購買生産販賣組合
 - 二 生産シタル生絲ノ揚返シヲ爲シ束裝荷造ヲ爲シテ販賣セントスル製絲家ノ販賣組合
 - 三 千五百人以上ノ組合員ヲ有シ總代會ヲ設ケテ總會ニ代ユル場合ニ於ケル販賣組合
- 有限責任、無限責任及保證責任ノ三種組織ノ適否ハ組合ノ種類、區域、組合員ノ資格、地方ノ事情等ニ依リ一定セス茲ニハ有限責任ノミヲ示セリ

(六) 有限責任何々購買生産販賣組合定款
(蠶絲業ニ關スルモノ)

農商務省調査
明治三十九年十二月二十九日
官報七〇五二號登載

第一章 總則

第一條 本組合ハ左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的ト爲ス

- 一 蠶業ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト
- 産業組合摸範定款

二 蠶業ニ必要ナル物ヲ備ヘ之ヲ組合員ニ使用セシムルコト
三 組合員ノ委托ヲ受ケ其ノ生産シタル繭ヲ販賣スルコト

第二條 本組合ハ有限責任何々購買生産販賣組合ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス

第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住スル年齢十五歳以上ノ男子又ハ女子ニシテ養蠶ヲ爲ス者ニ限ル

第七條 組合員ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ組合ニ加入スルコトヲ得ス

第八條 組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

- 一 出資額ニ相當スル財産ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
- 二 準備金ニ對シテハ拂込済出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

三 特別積立金ニ對シテハ組合ヨリ購買シ並組合ニ委托シテ販賣シタル物品ノ價格及組合ニ支拂ヒタル使用料ノ額ヲ合算シタル金額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

組合ニ損失アリタル時ハ之ヲ填補シタル組合財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス
組合財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資口數ニ應シ持分ヲ算定ス

第二章 出資及準備金

第九條 出資一口ノ金額ハ金拾圓トス

第十條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金壹圓トス

第十一條 第一回ノ拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ出資各口ニ付毎年七月迄ニ金貳圓以上ヲ拂込ムコトヲ要ス

第十二條 産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テハ毎年七月三十一日迄ニ一回ニ取纏メテ記載ヲ爲スモノトス

第十三條 組合員其ノ出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十四條 準備金ノ額ハ出資総額ト同額トシ其ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ三分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス

第十五條 加入金過怠金及第六十五條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス

第十六條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル殘額ノ少クトモ二分ノ一ハ特別積立金トシテ之ヲ積立ツルモノトス

特別積立金ハ損失填補又ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費ノ償却ニ充ツルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ事業資金ノ融通其ノ他ニ之ヲ利用シ又ハ臨時ノ支出ニ之ヲ使用スルコトヲ得

剩餘金ヨリ準備金、特別積立金ヲ控除シテ尙殘餘アルトキハ之ヲ配當金ト爲スモノトス

第十七條 準備金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ

之ヲ以テ國債證券若ハ總會ノ承認ヲ經タル地方債證券ヲ買入レ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十八條 本組合ニ理事三名、監事二名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉

ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ示シテ

請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ

通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スル

コトヲ得ス

總會ノ決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事及

監事ノ選任及解任、定款ノ變更、除名、解散及合併ノ決議ハ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第二十四條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但シ總會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十五條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十六條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及監事之ニ記名捺印スルヲ要ス

第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事ノ内一名ハ有給トシ其他ノ理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ理由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本組合ニ技術員何名ヲ置キ理事ノ合議ニ依リ組合長之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ技術上ノ事務ニ従事ス

産業組合模範定款

第三十條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第三十一條 理事ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第四章 事業ノ執行

第三十二條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十三條 組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ之ヲ預入ル、モノトス

第三十四條 理事ハ總會ノ承認ヲ經テ組合員ノ飼育スル蠶ノ名稱ヲ指定スルコトヲ得

第三十五條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

購買ノ部

第三十六條 本組合ニ於テ購買スル物品左ノ如シ

- 一 肥料、種苗、農蠶具、蠶種、蠶病消毒用藥品
- 二 其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物品

第三十七條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合外ヨリ前條ノ物品ヲ購買スルコトヲ得ス

第三十八條 理事ハ組合員ノ需要ヲ調査シ又ハ其ノ注文ニ應シ第三十六條ノ物品ヲ便宜購買スルモノトス

第三十九條 組合員ニ賣却スル物品ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

第四十條 理事ハ必要アルトキハ時期ヲ指定シテ組合員ニ注文物品ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第四十一條 組合員組合ヨリ物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

第四十二條 組合員ノ物品引取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ止ムコトヲ得サル事由アルトキハ六箇月ヲ超ヘサル期間代金支拂ノ延期ヲ請求スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ百圓ニ付何歩以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ附スルモノトス

第四十三條 理事代金支拂ノ延期ヲ承諾スル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ組合員ヲシテ保證人ヲ立テシムルコトヲ得

生産ノ部

第四十四條 本組合ニ備フル物件左ノ如シ

- 一 蠶室、農蠶具、蠶病消毒用器具、蠶種貯藏装置、殺蛹又ハ乾繭装置、乾繭貯藏装置
- 二 其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第四十五條 前條ニ掲ケタル物ノ使用ニ關スル手續ハ總會ノ決議ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第四十六條 組合員ハ組合ノ装置ヲ使用シテ出資一口毎ニ一事業年度内生繭何貫迄ヲ殺蛹、乾燥シ及乾繭何貫迄ヲ貯藏スルコトヲ得但シ装置ニ餘裕アルトキハ此制限ニ依ラサルコトヲ得

第四十七條 組合員組合ニ備付ケタル物ヲ使用シタルトキハ總會ニ於テ定メタル場合ニ限り使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十八條 前條ノ使用料ハ使用ヲ終リタル後一箇月以内ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス組合員前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ支拂フヘキ金額ノ千分ノ三ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

販賣ノ部

第四十九條 本組合ニ於テ販賣スル物品ハ乾繭トス但シ生繭ノ儘販賣スルコトアルヘシ

第五十條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セスシテ前條ノ物品ヲ販賣スルコトヲ得ス

第五十一條 組合カ組合員ヨリ物品ヲ受取りタルトキハ其ノ數量及品

等ヲ查定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス

品等查定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條 組合員ハ其ノ賣却セムトスル物品ニ付代價又ハ賣却ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第五十三條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付何錢以内ニ於テ理事ノ定メタル日歩ヲ支拂フコトヲ要ス

第五十四條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付總會ノ定メタル歩合金ヲ收納ス

第五十五條 一箇月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ組合ニ於テ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ハラズ毎月末各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス

假渡ヲ受ケタル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

第五十六條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハサル物品ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第五十七條 物品受取後ノ危険ハ組合ノ負擔トス

第五章 剩餘金處分及損失填補

第五十八條 剩餘金ハ準備金及特別積立金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ其ノ年度ニ於テ組合ヨリ購賣シ並組合ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價額及組合ニ支拂ヒタル使用料ヲ合計シタル金額ニ應シテ之ヲ爲スモノトス

第五十九條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第六十條 新ニ組合員タラントスル者ハ毎年何月中ニ申込書ニ加入金
參拾錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨加入者ニ通知シ出資第一
回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第六十一條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サムトスルトキハ理事ノ承諾ヲ經
ルコトヲ要ス

持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ加入金及出資ノ拂込ヲ爲
サシメサルノ外前條ノ規定ヲ準用ス

第六十二條 組合員脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六
箇月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第六十三條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入ノ手續
ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サス
シテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス此ノ

場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第六十四條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ
除名ス

- 一 出資ノ拂込又ハ購買物品ノ代金若ハ使用料ノ支拂ヲ怠リ期限
後一箇月以内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ
- 二 組合ヨリ購買シタル物品ヲ轉賣シタルトキ
- 三 組合ヨリ借受ケタル物ヲ他人ニ使用セシメ又ハ自己ノ生産シ
タルモノニ非サル物品ヲ組合ニ對シ自己ノ生産物ナリト偽リ
タルトキ
- 四 自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ノ販賣ヲ委托シタルトキ
- 五 第三十七條又ハ第五十條ノ規定ニ違背シ物品ヲ購買又ハ販賣
シタルトキ
- 六 組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ
- 七 犯罪其ノ他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

産業組合模範定款

第六十五條 組合員脫退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止マルモノトス但シ死亡、禁治産其ノ他總會ニ於テ已ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ因リ脫退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

第七章 組合ノ解散

第六十六條 本組合解散シタルトキハ理事其清算人ト爲ル

第八章 附 則

第六十七條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

監	監	理	理	理
事	事	事	事	事
何	何	何	何	何
某	某	某	某	某

(七) 有限責任何々生絲販賣組合定款

(同 上)

第一章 總 則

- 第一條 本組合ハ組合員ノ委托ヲ受ケ其ノ生産シタル生絲及製絲ノ副産物ヲ販賣スルヲ以テ目的ト爲ス
- 第二條 本組合ハ有限責任何々生絲販賣組合ト稱ス
- 第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス
- 第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村、何村及何村トス
- 第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク
- 第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ居住スル年齢十五歳以上ノ男子又ハ女子ニシテ生絲製造ヲ爲ス者ニ限ル
- 第七條 組合員ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ組合ニ加入スルコトヲ得ス

第八條 本組合ノ存立時期ハ三十箇年トス

第九條 組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

- 一 出資額ニ相當スル財産ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
- 二 準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 三 特別積立金ニ對シテハ組合員ニ配付シタル物品代金ニ應スルモノトシ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

組合ニ損失アリタル時ハ之ヲ填補シタル組合財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス

組合財産カ出資額ヨリ減少シタルハ出資口數ニ應シ持分ヲ算定ス

第二章 出資及準備金

第十條 出資一口ノ金額ハ金拾圓トス

第十一條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金壹圓トス

第十二條 第一回ノ拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員

ハ出資各口ニ付毎年七月末及十一月末迄ニ各金壹圓以上ヲ拂込ムコトヲ要ス

第十三條 産業組合法第十五條第一項第一號第二號ノ事項ニ付テハ毎年十一月三十日迄ニ一回ニ取纏メテ記載ヲ爲スモノトス

第十四條 組合員其ノ出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十五條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其ノ額ニ達スル迄每事業

第十六條 加入金、過怠金及第五十三條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス

第十七條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額及組合員ニ配當スヘキ金額ヲ控除シテ尙殘餘アルトキハ特別積立金ト爲スモノトス

特別積立金ハ損失填補又ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費ノ償却ニ充ツルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ事業資金ノ融通其ノ他ニ之ヲ利

産業組合模範定款

用シ又ハ臨時ノ支出ニ之ヲ使用スルコトヲ得

第十八條 準備金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ總會ノ承認ヲ經タル地方債證券ヲ買入レ又ハ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十九條 本組合ニ理事三名、監事二名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第二十條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス
理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十一條

辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生ジタル

トキハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十二條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎月一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三 總組員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第二十三條 總會ノ招集ハ少クとも五日前ニ書面ヲ以テ之ヲ組員ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス
産業組合模範定款

第二十四條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス若シ半數ニ充タサルトキハ十日以内ニ更ニ招集シ出席シタル組合員ヲ以テ開會ス

前項ノ場合ニ於ケル決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス理事及監事ノ選任及解任、定款ノ變更、除名、解散及合併ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス
第二十五條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但シ總會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十六條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十七條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作リ議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十八條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十九條 理事ノ内一名ハ有給トシ其ノ他ノ理事及監事ハ名譽職ト

ス

理事及監事ハ正當ノ理由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第三十條 本組合ニ検査人何名ヲ置キ理事ノ合議ニ依リ組合長之ヲ任免ス

検査人ハ理事ノ指揮ヲ承ケ生絲ノ検査其ノ他技術上ノ事務ニ従事ス

第三十一條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス
書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第三十二條 理事ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第四章 事業ノ執行

第三十三條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十四條 本組合ニ於テ販賣スル物品ハ生絲及製絲ノ副産物トス

第三十五條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セスシテ前條ノ物品ヲ販賣スルコトヲ得ス

第三十六條 組合カ組合員ヨリ物品ヲ受取リタルトキハ其ノ數量及品等ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス
品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 本組合ニ生絲揚返器械ヲ備フ
組合員ヨリ受取リタル生絲ハ前項ノ器械ヲ以テ揚返ヲ爲シタル後束裝荷造ヲ爲シ之ニ本組合ノ證券ヲ付スルモノトス

第三十八條 組合員ハ其ノ賣却セムトスル物品ニ付代價又ハ賣却ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第三十九條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ物品時價ノ十分八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付何錢以内ニ於テ理事ノ定メタル日歩ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付總會ノ定メタル歩合金ヲ收納ス

第四十一條 一箇月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ組合ニ於テ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ハラヌ毎月末各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス
假渡ヲ受ケタル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

第四十二條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハサリシ物品ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第四十三條 物品受取後ノ危険ハ組合ノ負擔トス

第四十四條 組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一産業組合摸範定款

個人ニ之ヲ預入ル、モノトス

第四十五條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剰餘金處分及損失填補

第四十六條 剰餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得

前項ノ配當ハ其ノ年度ニ於テ組合員ニ配付シタル物品代金ニ應シテ之ヲ爲スモノトス

第四十七條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第四十八條 新ニ組合員タラムトスル者ハ毎年何月中ニ申込書ニ加入金貳拾錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨加入者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第四十九條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サムトスルトキハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ加入金及出

資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外前條ノ規定ヲ準用ス

第五十條 組合員脱退セントスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十一條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サスシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト見做ス此ノ場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第五十二條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一 出資ノ拂込ヲ怠リ期限後一箇月以内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ

二 自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルトキ
産業組合模範定款

三 第三十五條ノ規定ニ違背シテ物品ヲ賣却シタルトキ

四 組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ

五 犯罪其ノ他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第五十三條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止マルモノトス但シ死亡、禁治産其ノ他總會ニ於テ止ムヲ得サルモノト認メタル事由ニ依リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

除名若ハ轉住ノ爲メ又ハ死亡ノ爲メ脱退シタル組合員ニ拂戻スヘキ持分ハ脱退當時ノ財産ニ依リ之ヲ定ム此ノ場合ニ於ケル轉住又ハ死亡ノ爲メ脱退シタル組合員ニ對シテハ拂込濟出資額及前年度末ニ於ケル準備金及特別積立金ニ對スル持分ヲ拂戻スモノトス但シ第五十一條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第七章 組合ノ解散

第五十四條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル

第八章 附 則

第五十五條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事	理事	理事	理事	理事
何	何	何	何	何
某	某	某	某	某
監事	監事	監事	監事	監事
何	何	何	何	何
某	某	某	某	某

(八) 有限責任何々生絲販賣組合 (産業組合法第三十八條ノ二ニ依リ總會ヲ設クルモノ) 定款

(同 上)

第一章 總 則

第一條 本組合ハ組合員ノ委托ヲ受ケ其ノ生産シタル生絲及製絲ノ副産業組合摸範定款

產物ヲ販賣スルヲ以テ目的ト爲ス

第二條 本組合ハ有限責任何々生絲販賣組合ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス

第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村、何村及何村(何縣何々郡何々村同縣何々何々村何縣何々郡何々何々村)トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ居住スル年齢十五歲以上ノ男子又ハ女子ニシテ生絲製造ヲ爲ス者ニ限ル

第七條 組合員ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ組合ニ加入スルコトヲ得ス

第八條 本組合ノ存立時期ハ三十箇年トス

第九條 組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

- 一 出資額ニ相當スル財産ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
- 二 準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定ス

加算ス

三 特別積立金ニ對シテハ組合員ニ配付シタル物品代金ニ應スルモノトシ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

組合ニ損失アリタル時ハ之ヲ填補シタル組合財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス
組合財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資口數ニ應シ持分ヲ算定ス

第二章 出資及準備金

第十條 出資一口ノ金額ハ金拾圓トス

第十一條 出資第一回拂込額ハ一口ニ付金壹圓トス

第十二條 第一回ノ拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ出資各口ニ付毎年七月末及十一月末迄ニ各金壹圓以上ヲ拂込ムコトヲ要ス

第十三條 產業組合法第十五條第一項第一號第二號ノ事項ニ付テハ每

產業組合摸範定款

年十一月三十日迄ニ一回ニ取纏メテ記載ヲ爲スモノトス

第十四條 組合員其ノ出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十五條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其ノ額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ三分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス

第十六條 加入金、過怠金及第六十一條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ剩餘ハ之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス

第十七條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額及組合員ニ配當スヘキ金額ヲ控除シテ尙剩餘アルトキハ特別積立金ト爲スモノトス

特別積立金ハ損失填補又ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費ノ償却ニ充ツルモノトス但シ總代會ノ決議ニ依リ事業資金ノ融通其ノ他ニ之ヲ利用シ又ハ臨時ノ支出ニ之ヲ使用スルコトヲ得

第十八條 準備金及特別積立金ハ總代會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ總代會ノ承認ヲ經タル地方債

證券ヲ買入レ又ハ總代會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十九條 本組合ニ理事五名、監事二名ヲ置ク

理事ハ組合長副組合長各一名ヲ互選ス

第二十條 組合長ハ組合ノ事務ヲ總理ス

副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十一條 組合長ハ左ノ區分ニ從ヒ理事ヲ指定シテ組合ノ事務ヲ分掌セシム

- 一 物品ノ受入保管
- 二 物品ノ數量及品等ノ檢定
- 三 物品ノ販賣
- 四 會計及庶務

第二十二條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再

選ヲ妨ケス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス
理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行
フモノトス

第二十三條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタル
トキハ通常總代會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ限リ臨時總代會ニ於テ
補闕選舉ヲ爲スモノトス

總代會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選
舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十四條 理事及監事ハ名譽職トス但シ總代會ノ決議ニ依リ理事ノ
一人ヲ有給ト爲スコトヲ得

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十五條 本組合ハ産業組合法第三十八條ノ二ニ依リ總代會ヲ設ク
第二十六條 總代ノ員數ハ何人トシ左ノ選出區域内ニ於ケル組合員ニ

於テ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ各一人ヲ互選ス

一 何村大字何

二 何村

三 何町大字何

四 何

理事、監事及本組合ノ事務員ハ總代タルコトヲ得ス但シ世話掛ハ此
ノ限ニ在ラス

第二十七條 總代ノ選舉ハ理事ノ指定シタル一人又ハ數人ノ組合員之
ヲ管理シ組合員中ヨリ管理者ノ指定シタル二人以上ノ立會人ノ立會
ヲ以テ之ヲ行フ

第二十八條 總代選舉ノ方法ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル

管理者ハ總代選舉ノ狀況ヲ記錄シ之ヲ理事ニ報告スヘシ

第二十九條 總代ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

辭任其ノ他ノ事由ニ因リ總代ニ闕員ヲ生シタルトキハ遲滯ナク補闕

産業組合模範定款

選舉ヲ爲スモノトス

第二十二條第二項、第三項及第二十四條第二項ノ規定ハ總代ニ之ヲ準用ス

第三十條 總代ハ其ノ選出區域内ニ於ケル組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十三條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 總代會ハ通常總代會及臨時總代會ノ二種トス

通常總代會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總代會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三 總代又ハ總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第三十二條 總代會ノ招集ハ少クモ五日前ニ書面ヲ以テ總代ニ之ヲ

ル通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第三十三條 總代會ハ總代ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

總代會ノ決議ハ出席シタル總代ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事及監事ノ選任及解任、定款ノ變更及除名ノ決議ハ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十四條 總代會ノ議長ハ組合長又ハ副組合長之ニ當ル組合長副組合長共ニ事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但シ總代會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席總代中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第三十五條 總代ハ二人以上ヲ代理シテ決議權ヲ行フコトヲ得ス

第三十六條 總代會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十七條 總代會ノ議事ニ關スル細則ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

産業組合模範定款

第三十八條 解散又ハ合併ノ決議ヲ爲サムトスルトキハ總會ヲ召集ス

總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス但シ其ノ決議ハ出席シタル

組合員ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十九條 本組合ニ左ノ事務員ヲ置ク

一 検査人 何 名

二 書記 何 名

三世話掛 何 名

事務員ハ組合員之ヲ任免ス但シ検査人ニ在リテハ理事ノ合議ヲ要ス

第四十條 検査人ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ數量及品等ノ檢定其

ノ他技術上ノ事務ニ従事ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

世話掛ハ組合事務ノ執行上必要アル場合ニ總代選出區域毎ニ組合員

中ヨリ一人又ハ數人ヲ選任シ其ノ區域内ノ事務ヲ掌ラシム

第四章 事業ノ執行

第四十一條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第四十二條 本組合ニ於テ販賣スル物品ハ生絲及製絲ノ副産物トス

第四十三條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セスシ

テ前條ノ物品ヲ販賣スルコトヲ得ス

第四十四條 組合カ組合員ヨリ物品ヲ受取リタルトキハ其ノ數量及品

等ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス

品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總代會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 本組合ニ生絲揚返器械ヲ備フ

組合員ヨリ受取リタル生糸ハ前項ノ器械ヲ以テ揚返ヲ爲シタル後束

裝荷造ヲ爲シ之ニ本組合ノ證券ヲ付スルモノトス

第四十六條 組合員ハ其ノ賣却セムトスル物品ニ付代價又ハ賣却ノ時

期ヲ指定スルコトヲ得ス

産業組合模範定款

第四十七條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付何錢以内ニ於テ理事ノ定メタル日步ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十八條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付總代會ノ定メタル步合金ヲ收納ス

第四十九條 一箇月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ組合ニ於テ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ハラズ毎月末各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委托シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス

假渡ヲ受ケタル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

第五十條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハサリシ物品ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スル

モノトス

第五十一條 物品受取後ノ危險ハ組合ノ負擔トス

第五十二條 組合ニ餘裕金アルトキハ總代會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ之ヲ預入ル、モノトス

第五十三條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分及損失填補

第五十四條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非ザレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ其ノ年度ニ於テ組合員ニ配付シタル物品代金ニ應シテ之ヲ爲スモノトス

第五十五條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第五十六條 新ニ組合員タラムトスル者ハ毎年何月中ニ申込書ニ加入

産業組合模範定款

金貳拾錢ヲ添へ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨加入者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第五十七條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サムトスルトキハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス

持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ加入金及出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外前條ノ規定ヲ準用ス

第五十八條 組合員脱退セムトスルトキハ少クとも其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十九條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サスシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス此ノ場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第六十條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總代會ノ決議ニ依リ之ヲ

除名ス

一 出資ノ拂込ヲ怠リ期限後一箇月以内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ

二 自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルトキ

三 第四十三條ノ規定ニ違背シテ物品ヲ賣却シタルトキ

四 組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ

五 犯罪其ノ他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第六十一條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止マルモノトス但シ死亡、禁治産其ノ他總代會ニ於テ已ムヲ得サルモノト認メタル事由ニ因リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

除名若ハ轉住ノ爲メ又ハ死亡ノ爲メ脱退シタル組合員ニ拂戻スヘキ持分ハ脱退當時ノ財産ニ依リ之ヲ定ム此ノ場合ニ於ケル轉住又ハ死亡ノ爲脱退シタル組合員ニ對シテハ拂込濟出資額及前年度末ニ於ケ

産業組合模範定款

ル準備金並ニ特別積立金ニ對スル持分ヲ拂戻スモノトス但シ第五十
九條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第七章 組合ノ解散

第六十二條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル

第八章 附 則

第六十三條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ
第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理	理	理	理	理	理	理
事	事	事	事	事	事	事
何	何	何	何	何	何	何
某	某	某	某	某	某	某

家禽業ニ關シ産業組合ノ應用ハ信用組合、販賣組合、購買組合、生産組合共ニ緊要ナリ
ト雖モ茲ニハ唯購買及販賣ニ關スル有限責任組織ノ定款ノミヲ示セリ尙ホ已ニ公示シタ
ル各種ノ模範定款ヲ參考スヘシ

(九) 有限責任何々家禽購買販賣組法定款

(家禽業ニ關スルモノ)

(農商務省調査)
明治四十年四月二十九日
官報第七一四大號登載

第一章 總 則

第一條 本組合ハ左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

一 種禽、種卵及養禽ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却
スルコト

二 組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル家禽卵及養禽副産物ヲ販
賣スルコト

第二條 本組合ハ有限責任何々家禽購買販賣組合ト稱ス
産業組合模範定款

第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス

第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村、何村及何村トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住スル年齢十五歳以上ノ男子又ハ女子ニシテ養禽ヲ爲ス者ニ限ル

第七條 組合員ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ組合ニ加入スルコトヲ得ス

トヲ得ス

第八條 組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一 出資額ニ相當スル財産ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス

二 準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

加算ス

三 特別積立金ニ對シテハ組合ヨリ購買シ及組合ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價格ヲ合計シタル金額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

加算ス

組合ニ損失アリタルトキハ之ヲ填補シタル組合財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十六條第二項ニ依リ特別積立金ノ設備費ノ償却又ハ臨時ノ支出ニ使用シタル場合ニ於テ亦同シ
組合財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資口數ニ應シ持分ヲ算定ス

第二章 出資及準備金

第九條 出資一口ノ金額ハ金五圓トス

第十條 出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金五拾錢トス

第十一條 第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ

出資各口ニ付毎年一月末及七月末迄ニ各金拾錢以上ヲ拂込ムコトヲ要ス

第十二條 産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テハ毎年七月三十一日迄ニ一回ニ取纏メテ記載ヲ爲スモノトス

産業組合摸範定款

第十三條 組合員其ノ出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十四條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其ノ額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ三分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス

第十五條 加入金、過怠金及第六十條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス

第十六條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル殘額ハ少クトモ二分ノ一ハ特別積立金トシテ之ヲ積立ツルモノトス

特別積立金ハ損失填補又ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費ノ償却ニ充ツルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ事業資金ノ融通其ノ他ニ之ヲ利用シ又ハ臨時ノ支出ニ之ヲ使用スルコトヲ得

剩餘金ヨリ準備金、特別積立金ヲ控除シテ尙殘餘アルトキハ之ヲ配當金ト爲スモノトス

第十七條 準備金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ

之ヲ以テ國債證券若ハ總會ノ承認ヲ經タル地方債証券ヲ買入レ又ハ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十八條 本組合ニ理事三名、監事二名ヲ置ク
理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス
理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

産業組合模範定款

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三 總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス若シ半數ニ充タサルトキハ十日以内ニ更ニ招集シ出席シ

タル組合員ヲ以テ開會ス

前項ノ場合ニ於ケル決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

理事及監事ノ選任及解任定款ノ變更除名解散及合併ノ決議ハ總組合員半數以上出席シ其四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第二十四條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但シ總會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十五條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十六條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事ノ内一名ハ有給トシ其ノ他ノ理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ理由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第三十條 理事ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲ス

コトヲ得

協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第三十一條 本組合ニ世話掛何名ヲ置キ組合員中ヨリ之ヲ委嘱ス

世話掛ハ理事ノ指定ニ依リ組合業務ノ執行上必要ナル事務ヲ掌ルモノトス

第四章 事業ノ執行

第三十二條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一

日ニ終ル

第三十三條 組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一

人ニ之ヲ預入ル、モノトス

第三十四條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

購買ノ部

第三十五條 本組合ニ於テ購買スル物品左ノ如シ

一 種禽、種卵

二 孵卵及育雛用器具器械、飼禽用器具器械

三 飼料藥品

四 其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物品

第三十六條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合外ヨリ前條ノ物品ヲ購買スルコトヲ得ス

第三十七條 理事ハ組合員ノ需要ヲ調査シ又ハ其ノ注文ニ應シ第三十五條ノ物品ヲ便宜購買スルモノトス

第三十八條 組合員ニ賣却スル物品ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

第三十九條 理事ハ必要アルトキハ時期ヲ指定シテ組合員ニ注文物品ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第四十條 組合員組合ヨリ物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

第四十一條 組合員ハ物品引取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ止ムコトヲ得サル事由アルトキハ六ヶ月ヲ超ヘサル期間代金支拂ノ延期ヲ請求スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ百圓ニ付何錢以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ附スルモノトス

第四十二條 理事代金支拂ノ延期ヲ承諾スル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ組合員ヲシテ保證人ヲ立テシムルコトヲ得

販賣ノ部

第四十三條 本組合ニ於テ販賣スル物品ハ家禽、卵、羽毛及糞トス
第四十四條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セスシ

テ前條ノ物品ヲ販賣スルコトヲ得ス

第四十五條 理事ハ組合員カ物品ヲ組合ニ差出スヘキ時期ヲ指定スルコトヲ得

第四十六條 組合カ組合員ヨリ物品ヲ受取リタルトキハ其ノ數量及品等ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス

前項ノ査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム
受取物品中品等不良ナルモノハ之ヲ組合員ニ返付スルコトヲ得

第四十七條 組合員ハ其ノ賣却セムトスル物品ニ付代價又ハ賣却ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第四十八條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付何錢以内ニ於テ理事ノ定メタル日歩ヲ支拂フコトヲ要ス

産業組合模範定款

第四十九條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付總會ノ定メタル歩合金ヲ收納ス

第五十條 販賣シタル物品ノ代金ハ組合ニ於テ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ハラズ毎年六月末及十二月末ノ二期ニ分チ各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス假渡ヲ受ケタル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

第五十一條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハサリシ物品ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第五十二條 物品受取後ノ危険ハ組合ノ負擔トス

第五章 剩餘金處分及損失填補

第五十三條 剩餘金ハ準備金及特別積立金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ其ノ年度ニ於テ組合ヨリ購買シ及組合ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價格ヲ合計シタル金額ニ應シテ之ヲ爲スモノトス

第五十四條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第五十五條 新ニ組合員タラムトスル者ハ毎年十二月中ニ申込書ニ加入金貳拾錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨加入者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第五十六條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サムトスルトキハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス

持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ加入金及出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外前條ノ規定ヲ準用ス

第五十七條 組合員脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六

箇月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十八條 死亡ニ因リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サスシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス此ノ場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第五十九條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込又ハ購買物品ノ代金ノ仕拂ヲ怠リ期限後一箇月以內ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ
- 二 組合員ヨリ購買シタル物品ヲ轉賣シタルトキ
- 三 自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルトキ
- 四 第三十六條又ハ第四十四條ノ規定ニ違背シ物品ヲ購買又ハ販賣シタルトキ
- 五 組合ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

六 犯罪其ノ他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第六十條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止マルモノトス但シ死亡、禁治産其ノ他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ因リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

除名若ハ轉住ノ爲又ハ死亡ノ爲脱退シタル組合員ニ拂戻スヘキ持分ハ脱退當時ノ財産ニ依リ之ヲ定ム此ノ場合ニ於ケル轉住又ハ死亡ノ爲脱退シタル組合員ニ對シテハ拂込濟出資額及前年度末ニ於ケル準備金及特別積立金ニ對スル持分ニ相當スル金額ヲ拂戻スモノトス但シ第五十八條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第七章 組合ノ解散
第六十一條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章 附則

第六十二條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ産業組合模範定款

第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

監	監	理	理	理
事	事	事	事	事
何	何	何	何	何
某	某	某	某	某

●一一二

産業組合聯合會模範定款

(一) 有限責任何々信用組合聯合會定款

(農商務省調査)
明治四十三年三月十七日
官報第八〇一七號登載

第一章 總 則

- 第一條 本會ハ所屬組合及所屬聯合會ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ有限責任何々信用組合聯合會ト稱ス
- 第三條 本會ノ組織ハ有限責任トス
- 第四條 本會ノ區域ハ何縣何郡、何郡及何郡ノ三郡トス
- 第五條 本會ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク
- 第六條 所屬組合又ハ所屬聯合會ノ本會ハ區域内ニ主タル事務所ヲ有スルモノニ限ル
- 第七條 本會ノ財産ニ付所屬組合及所屬聯合會ノ有スル持分ハ其ノ拂込濟出資額ニ應スルモノトス
- 第八條 所屬組合又ハ所屬聯合會カ一事業年度ニ於ケル借入最高金額ヲ議決シタルトキハ遲滯ナク本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス
- 第九條 産業組合法第九條第一項第一號乃至第十號、第十二號及同法産業組合模範定款

●一一三

第十五條 第一項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項並所屬組合又ハ所屬聯合會ノ區域、理事及監事ノ氏名、住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合又ハ所屬聯合會ハ每月末限リ取纏メ本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第二章 出資及積立金

第十條 出資一口ノ金額ハ金參百圓トス

第十一條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金參拾圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外

出資一口ニ付毎年二月末迄ニ金參拾圓宛拂込ムモノトス

第十二條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘ

キ金額ノ二百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徴收ス

第十三條 本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四

分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十四條 加入金、過怠金第四十五條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル持

分ノ剩餘及拂戻ヲ爲サ、ル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ル、モノトス

第十五條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍剩餘アルト

キハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス

第十六條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時

ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十七條 準備金及特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人

ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ地方債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ

之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スル

コトヲ得

第三章 機關

第十八條 本會ニ理事五名、監事三名ヲ置ク

理事ハ會長一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ

依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

産業組合模範定款

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選
ヲ妨ケス

會長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フ

モノトス

第二十條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルト

キハ通常總會開會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限り臨時總

會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉

ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 盈事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ
- 三 所屬組合所屬聯合會ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合及所屬聯合會ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 所屬組合及所屬聯合會ハ本會ノ總會ニ出席セシムル爲理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十四條 總會ハ所屬組合及所屬聯合會ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

産業組合模範定款

第二十五條 總會ノ議長ハ第二十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外

會長之ニ當タル會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

第二十一條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シ

タル監事之ニ當タル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認めタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコ

トヲ得

第二十六條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ

記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコト

ヲ要ス

第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事ハ每事業年度ノ始及必要ト認めル場合ニ於テ所屬組

合又ハ所屬聯合會ニ貸付クヘキ最高金額ヲ定メ信用程度表ヲ作成ス

ルコトヲ要ス

信用程度表ハ理事之ヲ保管シ監事ノ外閲覧スルコトヲ得サルモノト

第二十九條 理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第三十條 本會ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第四章 事業ノ執行

第三十一條 本會ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日

ニ終ル

第三十二條 所屬組合又ハ所屬聯合會ニ對スル貸付ニ付テハ信用程度

表ニ依リ其ノ信用ヲ査定シ貸付クヘキ金額及其ノ方法ヲ定ムルモノ

トス

第三十三條 貸付金ノ辨濟期限ハ一箇年内ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ

事由アルトキハ三箇年内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三十四條 貸付金ノ辨濟ニ付テノ遲延利息ハ貸付金ノ利率ニ依ル

第三十五條 本會ニ於テ取扱フ貯金ハ一回金五圓以上トス

貯金ハ預入ノ日ヨリ起算シ拂戻ノ前日迄ノ日數ヲ計算シテ利息ヲ附スルモノトス

貯金ノ利息ハ毎年六月末及十二月末ノ兩度ニ之ヲ元本ニ組入ル、モ
ノトス

第三十六條 貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事之ヲ定ム

一 貸付金ニ付テハ年九分以下

二 貯金ニ付テハ年七分五厘以下

第三十七條 本會ノ餘裕金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外
他ニ之ヲ預入ル、コトヲ得ス

第三十八條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分及損失填補

第三十九條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サ

レハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年五分以下トス

第四十條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第四十一條 本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金貳圓及左ニ

掲クル書類ヲ添附シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

一 定款ノ謄本

二 最近ニ作成シタル貸借對照表

三 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議錄
ノ謄本

申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事及監事ノ氏名、住所ヲ附記スル
コトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一
回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合及所屬聯合會名簿ニ記載スルコ

産業組合模範定款

トヲ要ス

加入ノ効力ハ第四十二條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第四十二條 持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスルモノカ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ非サルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外前條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス

第四十三條 所屬組合又ハ所屬聯合會カ脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十四條 所屬組合又ハ所屬聯合會カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込、過怠金ノ納付、貸付金ノ辨濟又ハ利息ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月以内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ
- 二 本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

三 信用ヲ失ヒタルトキ

第四十五條 所屬組合又ハ所屬聯合會脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス
前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合又ハ聯合會ニ對スル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ニ止ム

第七章 解散

第四十六條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章 附則

第四十七條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某

理	事	何	某
監	事	何	某
監	事	何	某
監	事	何	某

(二) 保證責任何々販賣組合聯合會定款

(農商務省調査)
明治四十三年三月十八日
官報第八〇一八號登載

第一章 總 則

- 第一條 本會ハ所屬組合ノ委托ヲ受ケタル物品ヲ販賣スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ保證責任何々販賣組合聯合會ト稱ス
- 第三條 本會ノ組織ハ保證責任トス
- 第四條 本會ノ區域ハ何縣何郡、何郡及何郡ノ三郡トス

第五條 本會ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何町何番地ニ置ク

第六條 所屬組合ハ本會ノ區域内ニ主タル事務所ヲ有スル販賣組合又ハ販賣組合ノ事業ヲ兼營スル組合ニ限ル

第七條 本會ノ財産ニ對スル所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

- 一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
- 二 準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 三 特別積立金ニ對シテハ其ノ年度ニ於テ本會ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 四 其ノ他ノ財産ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シテ之ヲ算定ス
- 五 本會ニ損失アリ其ノ未タ填補ヲ爲ササル前持分ヲ拂戻ストキハ特別積立金ニ對スル特分ニ按分シテ控除シ其ノ特別積立金産業組合摸範定款

ヲ以テ足ラサルトキハ準備金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ
持分ヲ算定ス

本會ニ損失アリタルトキハ之ヲ填補シタル本會財産ノ科目ニ對スル
前年度末ニ於ケル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十六條ノ規
定ニ依リ特別積立金ヲ臨時ノ支出ニ處分シタル場合亦同シ
本會財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定
ス

第八條 産業組合法第九條第一項第一號乃至第十號、第十二號及同法
第十五條第一項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項並所屬組合ノ區
域、理事及監事ノ氏名、住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合ハ毎月
未限リ取纏メ本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第二章 出資及積立金

第九條 出資一口ノ金額ハ金貳百圓トス

第十條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五拾圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ配當タヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外
出資一口ニ付毎年二月末迄ニ金五拾圓宛拂込ムモノトス

第十一條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘ
キ金額ノ二百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徴收ス

第十二條 産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テ爲
スヘキ産業組合聯合會原簿ノ記載ノ變更ハ毎年十二月三十一日ニ之
ヲ取纏メテ其ノ後二週間内ニ之ヲ爲スモノトス

第十三條 本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四
分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十四條 加入金、過怠金、第五十四條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル
持分ノ殘額及拂戻ヲ爲サ、ル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ルモノトス

第十五條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルト
キハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス

第十六條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時

ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十七條 準備金及特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ地方債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 機關

第十八條 本會ニ理事三名、監事二名ヲ置ク

理事ハ會長一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代表者一名ヲ定ム

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

會長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會開會ノ時期迄豫猶スルコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス
總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ
- 三 所屬組合ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ

産業組合模範定款

記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 所屬組合ハ本會ノ總會ニ出席セシムル爲理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十四條 總會ハ所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條 總會ノ議長ハ第二十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當タル會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

第二十一條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當タル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認めタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

トヲ得

第二十六條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本會ニ技術員何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ品等及數量ノ査定其ノ他技術ニ關スル事務ニ從事ス

第三十條 本會ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

産業組合模範定款

第三十一條 本會ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十二條 本會ニ於テ取扱フ物品ハ米及麥トス但シ總會ノ決議ニ依リ他ノ農産物ヲ取扱フコトヲ得

第三十三條 所屬組合ハ理事ノ承認ヲ經ルニ非サレハ本會ニ委託セムシテ本會ニ於テ取扱フ物品ヲ賣却スルコトヲ得ス

第三十四條 理事ハ所屬組合ノ取扱物品ニ付報告ヲ徴シ又ハ事業執行上必要ナル場合ニ於テ所屬組合ノ書類帳簿ノ閲覽ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 所屬組合ヨリ物品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ理事ハ技術員ヲシテ其ノ品等及數量ヲ査定セシメ之ヲ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス

品等査定ノ標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十六條 所屬組合ハ委託シタル物品賣却ノ代價又ハ時期ヲ指定スルコトヲ要ス

第三十七條 所屬組合カ本會ニ物品ヲ引渡シタルトキハ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ代金拂渡ノ時期迄百圓ニ付參錢以下ニ於テ理事ノ定メタル日歩ヲ徴收ス

第三十八條 一箇月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ買受人ヨリ之ヲ受取リタルト否トニ拘ハラズ毎月末各品等ニ付之ヲ計算シ委託シタル物品ノ數量ニ應シ之ヲ各所屬組合ニ配分スルモノトス

假渡金ハ代金配分ノトキ差引計算ヲ爲スモノトス

第三十九條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハザリシ物品ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第四十條 本會ハ所屬組合ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付總會ノ決議ニ依リ定メタル歩合金ヲ徴收ス

第四十一條 受取物品中組合ニ於テ調製、俵裝其ノ他勞費ヲ加ヘタル

トキハ別ニ手數料ヲ徵シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス
前項ノ手數料ノ率ハ總會ノ決議シタル範圍ニ於テ理事之ヲ定ム

第四十二條 本會ハ何々停車場附近ニ倉庫ヲ置ク

第四十三條 物品受取後ノ危險ハ本會ノ負擔トス

第四十四條 本會ノ餘裕金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外
他ニ之ヲ預入ル、コトヲ得ス

第四十五條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分並損失ノ填補及分擔

第四十六條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サ
レハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額及其ノ年度ニ於テ本會ニ委託シテ販賣
シタル物品ノ價額ニ應シテ之ヲ爲スモノトス但シ拂込濟出資額ニ對
スル配當ノ率ハ年五分以下トス

第四十七條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テ
ス

第四十八條 各所屬組合ノ保證金額ハ出資一口ニ付金貳百圓トス

第四十九條 本會ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合
ニ於テ各所屬組合間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ其ノ保證金額ノ割合
ニ應スルモノトス脱退シタル組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入及脱退

第五十條 本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金貳圓及左ニ掲
クル書類ヲ添附シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

一 定款ノ謄本

二 最近ニ作成シタル貸借對照表

三 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議錄
ノ謄本

申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事及監事ノ氏名、住所ヲ附記スル
産業組合摸範定款

コトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス
加入ノ効力ハ第五十一條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第五十一條 持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスルモノカ所屬組合ニ非サルトキハ出資

拂込ヲ爲サシメサルノ外前條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス

第五十二條 所屬組合カ脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末十箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十三條 所屬組合カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込又ハ過怠金ノ納付ヲ怠リ期限後一箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ
- 二 組合員ノ生産シタル物ニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルトキ
- 三 第三十三條ノ規定ニ違反シタルトキ
- 四 本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ
- 五 信用ヲ失ヒタルトキ

第五十四條 所屬組合脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス
前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合ニ對スル持分ノ拂戻ハ其拂込濟出資額ノ半額ニ止ム

第七章 解散
第五十五條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章 附則
第五十六條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事 何 某

理事	何	某
理事	何	某
監事	何	某
監事	何	某

(三) 有限責任何々購買組合聯合會定款

(農商務省調査)
明治四十三年三月十九日
官報第八〇一九號登載

第一章 總 則

- 第一條 本會ハ所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ヲ所屬組合ニ賣却スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ有限責任何々購買組合聯合會ト稱ス
- 第三條 本會ノ組織ハ有限責任トス
- 第四條 本會ノ區域ハ何縣何郡、何郡及何郡ノ三郡トス

第五條 本會ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 所屬組合ハ本會ノ區域内ニ主タル事務所ヲ有スル購買組合又ハ購買組合ノ事業ヲ兼營スル組合ニ限ル

第七條 本會ノ財産ニ對スル所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

- 一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
- 二 準備金ニ對シテハ拂込出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 三 特別積立金ニ對シテハ其ノ年度ニ於テ本會ヨリ購買シタル物品ノ價額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 四 其ノ他ノ財産ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ之ヲ算定ス
- 五 本會ニ損失アリ其ノ未タ填補ヲ爲サル前持分ヲ拂戻ストキハ特別積立金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ其ノ特別積立金ヲ以テ足ラサルトキハ準備金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ

産業組合模範定款

持分ヲ算定ス

本會ニ損失アリタルトキハ之ヲ填補シタル本會財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十六條ノ規定ニ依リ特別積立金ヲ臨時ノ支出ニ處分シタル場合亦同シ

本會財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第八條

産業組合法第九條第一項第一號乃至第十號、第十二號及同法

第十五條第一項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項並所屬組合ノ區域、理事及監事ノ氏名、住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合ハ毎月

未限リ取纏メ本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第二章 出資及積立金

第九條

出資一口ノ金額ハ金貳百圓トス

第十條

出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金貳拾圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外

出資一口ニ付毎年二月末迄ニ金貳拾圓宛拂込ムモノトス

第十一條

出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘ

キ金額ノ二百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徴收ス

第十二條

産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テ爲

スヘキ産業組合聯合會原簿ノ記載ノ變更ハ毎年十二月三十一日ニ之ヲ取纏メテ其ノ後二週間内ニ之ヲ爲スモノトス

第十三條

本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十四條

加入金、過怠金、第四十八條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル

持分ノ殘額及拂戻ヲ爲サ、ル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ル、モノトス

第十五條

剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルト

キハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス

第十六條

特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時

ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十七條

準備金及特別積立金ハ何々信用組合聯合會又ハ總會ノ承認

ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ地方債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 機關

第十八條 本會ニ理事三名、監事二名ヲ置ク

理事ハ會長一名ヲ互選ス
會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

會長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ
補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス
理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルト

キハ通常總會開會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ

三 所屬組合ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

産業組合模範定款

第二十三條 所屬組合ハ本會ノ總會ニ出席セシムル爲理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十四條 總會ハ所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條 總會ノ議長ハ第二十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當タル會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

第二十一條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當タル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十六條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出資者ノ員數ヲ

記載スルコトヲ要ス

議事録ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本會ニ技術員何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ品等及數量ノ査定其ノ他技術ニ關スル事務ニ従事ス

第三十條 本會ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第四章 事業ノ執行

第三十一條 本會ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十二條 本會ニ於テ取扱フ物品左ノ如シ

- 一 肥料、種苗及農具
- 二 米、麥及食鹽
- 三 其他總會ノ決議ヲ經タル物品

産業組合摸範定款

第三十三條 前條ノ物品ハ理事ノ見込又ハ所屬組合ノ注文ニ依リ之ヲ購買スルモノトス

第三十四條 理事ハ所屬組合ノ取扱物品ニ付報告ヲ徴シ又ハ事業執行上必要ナル場合ニ於テ所屬組合ノ書類、帳簿ノ閲覽ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 所屬組合ハ理事ノ承認ヲ經ルニ非サレハ本會ニ於テ取扱ノ物品ヲ本會外ヨリ購買シ又ハ本會ヨリ購買シタル物品ヲ其ノ組合員ニ非サル者ニ賣却スルコトヲ得ス

第三十六條 組合ニ賣却スル物品ノ代價ハ市場ノ小賣價格以下ニ於テ理事之ヲ定ム

第三十七條 理事必要ト認ムルトキハ時期ヲ指定シテ所屬組合ニ注文物品ノ見積代金ノ一部ノ前拂ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十八條 所屬組合カ物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一週間内ニ引取リヲ爲サ、ルトキハ物

品購入代價ノ十分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徴收ス此ノ場合ニ於テハ本會ニ於テ其ノ賣買契約ノ解除ヲ爲スコトヲ妨ケス

第三十九條 所屬組合ハ物品受取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ理事ニ於テ止ムコトヲ得サル事由アリト認ムルトキハ擔保ヲ供セシメ又ハ供セシメスシテ六箇月ヲ超エサル期間代金支拂ノ延期ヲ許スコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ相當ノ利息ヲ徴收スルモノトス

第四十條 本會ノ餘裕金ハ何々信用組合聯合會又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外他ニ之ヲ預入ル、コトヲ得ス

第四十一條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分及損失填補
第四十二條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額及其ノ年度ニ於テ本會ヨリ購買シタル

産業組合摸範定款

物品ノ價額ニ應シテ之ヲ爲スモノトス但シ拂込濟出資額ニ對スル配當ノ率ハ年五分以下トス

第四十三條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第四十四條 本會ニ加入セントスルトキハ申込書ニ加入金貳圓及左ニ掲クル書類ヲ添附シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

一 定款ノ謄本

二 最近ニ作成シタル貸借對照表

三 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本

申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事及監事ノ氏名、住所ヲ附記スルコトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一

回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ效力ハ第四十五條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時

ニ發生スルモノトス

第四十五條 持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスルモノカ所屬組合ニ非サルトキハ出資

拂込ヲ爲サシメサルノ外前條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス

第四十六條 所屬組合カ脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十七條 所屬組合カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一 出資ノ拂込、過怠金ノ納付又ハ購買物品代金ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ

二 第三十五條ノ規定ニ違反シタルトキ

三 本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

四 信用ヲ失ヒタルトキ

第四十八條 所屬組合カ脱退ノ場合ニ對スル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟産業組合摸範定款

出資額ニ止ムルモノトス

前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合ニ對スル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ニ止ム

第七章 解散

第四十九條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章 附則

第五十條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理	理	理	監
事	事	事	事
何	何	何	何
某	某	某	某

(四) 保證責任何々生産組合聯合會定款

(農商務省調査)
明治四十三年三月二十四日
官報第八〇二二號登載

第一章 總則

第一條 本會ハ所屬組合カ其ノ組合員ニ使用セシムル物ヲ所屬組合ニ貸付スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ保證責任何々生産組合聯合會ト稱ス

第三條 本會ノ組織ハ保證責任トス

第四條 本會ノ區域ハ何縣何郡、何郡及何郡ノ三郡トス

第五條 本會ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 所屬組合ハ本會ノ區域内ニ主タル事務所ヲ有スル生産組合又ハ生産組合ノ事業ヲ兼營スル組合ニ限ル

第七條 本會ノ財産ニ付所屬組合ノ有スル持分ハ其ノ拂込濟出資額ニ

産業組合模範定款

應スルモノトス

第八條 産業組合法第九條第一項第一號乃至第十號、第十二號及同法第十五條第一項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項並所屬組合ノ區域、理事及監事ノ氏名、住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合ハ毎月未限リ取纏メ本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第二章 出資及積立金

第九條 出資一口ノ金額ハ金參百圓トス

第十條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金百圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資一口ニ付毎年二月末迄ニ金五拾圓宛拂込ムモノトス

第十一條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徵收ス

第十二條 産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テ爲スヘキ産業組合聯合會原簿ノ記載ノ變更ハ毎年十二月三十一日ニ之

ヲ取纏メテ其ノ後二週間内ニ之ヲ爲スモノトス

第十三條 本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十四條 加入金、過怠金、第四十六條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額及拂戻ヲ爲サ、ル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ル、モノトス

第十五條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス

第十六條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十七條 準備金及特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ地方債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 機關

産業組合摸範定款

第十八條 本會ニ理事三名、監事二名ヲ置ク

理事ハ會長一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ

依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選

ヲ妨ケス

會長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フ

モノトス

第二十條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルト

キハ通常總會開會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總

會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉

ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發

見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルト

キ

三 所屬組合ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ事由ヲ

記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合ニ通

知スコトルヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 所屬組合ハ本會ノ總會ニ出席セシムル爲理事ノ互選ニ依

産業組合模範定款

リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十四條 總會ハ所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條 總會ノ議長ハ第二十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當タル會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

第二十一條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當タル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十六條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本會ニ技術員何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ技術ニ關スル事務ニ従事ス

第三十條 本會ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第四章 事業ノ執行

第三十一條 本會ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十二條 本會ハ種畜、孵卵器其ノ他總會ノ承認ヲ經タル物品ヲ備フルモノトス

第三十三條 所屬組合カ前條ノ物品ヲ借受ケ之ヲ組合員ニ使用セシメムトスルトキハ借入ノ期日及期間ヲ申込書ニ記載シ理事ニ差出スコ

トヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ受ケタルトキハ貸付ノ期日及期間ヲ定メ之ヲ組合ニ通知スルコトヲ要ス

第三十四條 所屬組合カ第三十二條ノ物品ヲ借受ケタルトキハ總會ニ於テ定メタル使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

使用中物品ヲ損壞若ハ傷害シ又ハ之ヲ喪失シタルトキハ理事ノ定メタル辨償金ヲ差出スコトヲ要ス

第三十五條 前條ノ使用料ハ其ノ使用ヲ終リタルトキ辨償金ハ理事カ辨償ノ請求ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ二週間内ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ支拂フヘキ金額ノ千分リニ當タル過怠金ヲ徴收ス

第三十六條 本會ノ餘裕金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外他ニ之ヲ預入ル、コトヲ得ス

第三十七條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分並損失ノ填補及分擔

第三十八條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年五分以下トス

第三十九條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第四十條 各所屬組合ノ保證金額ハ出資一口ニ付金三百圓トス

第四十一條 本會ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合

ニ於テ各所屬組合間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ其ノ保證金額ノ割合ニ應スルモノトス脱退シタル組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加人及脱退

第四十二條 本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金二圓及左ニ掲クル書類ヲ添附シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

産業組合模範定款

- 一 定款ノ謄本
- 二 最近ニ作成シタル貸借對照表
- 三 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本

申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事及監事ノ氏名、住所ヲ附記スルコトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス
加入ノ效力ハ第四十三條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第四十三條 持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスルモノカ所屬組合ニ非サルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外前條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス

第四十四條 所屬組合カ脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度

末十箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十五條 所屬組合カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込、過怠金ノ納付、使用料又ハ第三十四條第二項ノ辨償金ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ
- 二 借受物品ヲ組合員外ノ者ニ轉貸又ハ使用セシメタルトキ
- 三 借受物品ノ返還ヲ怠リタルトキ
- 四 本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ
- 五 信用ヲ失ヒタルトキ

第四十六條 所屬組合脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス

前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合ニ對スル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ニ止ム

第七章 解 散

第四十七條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章 附 則

第四十八條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第

一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理 事	理 事	理 事	理 事	理 事
何	何	何	何	何
某	某	某	某	某

定款作成上注意ノ件

(明治四十四年九月五日付亥商收第三〇一四號ヲ以テ各郡市長ニ通牒)

一、組合ノ事業ハ明瞭ニ詳記セシムヘシ

加入豫約者ノ貯金ヲ取扱ハントスルトキハ其旨ヲ明記セシムヘシ

一、購買組合ノ取扱物品ハ組合員ノ産業用品ナルヤ又ハ生計用品ナルヤヲ區別シテ明記セシムヘシ

一、販賣組合、購買組合及生産組合ニ於テ加工ヲナサントスルトキハ其旨及事業執行ニ關スル規定中ニ如何ナル物品ニ如何ナル加工ヲナスヤヲ明記セシムヘシ

一、事務所ノ所在地及番地ヲ明記セシムヘシ

一、信用組合及信用事業兼營組合ノ區域ニ付テハ隣保相助ノ趣旨ニ悖ルコトナキ様特ニ注意シテ規定セシムヘシ

一、信用組合ノ組合員ハ産業ニ従事スル者ニ限ルモノナルニ付特ニ注意スヘシ

一、加入豫約者ノ貯金ヲ取扱ハントスル組合ニアリテハ加入豫約者ノ資格ニ付前項同様ノ趣旨ヲ以テ規定セシムヘシ

一、組合ノ存立時期ヲ餘リ短期ヲ以テ限定スルハ實際上組合ノ目的ヲ

産業組合摸範定款

達スルニ適當ナラサルカ故ニ存立時期ヲ定ムル場合ニハ少クトモ十ケ年ヲ下ラサル様注意スヘシ

一、貸付金額及貯金額ニ應シテ持分ヲ有セシムルコトナキ様注意スヘシ

一、持分ニ關スル規定ヲ組合財産ノ各科目ニ付各別ニ規定シ而モ年度毎ニ算定シテ加算スル方法ヲ採リタルトキハ保證責任販賣組合聯合會摸範定款第七條ノ如キ規定ヲ設ケシムル様注意スヘシ

一、出資拂込ノ方法ニ關スル規定ニ付テハ小産者ノ拂込ヲ困難ナラシムルコトナキ様注意スヘシ

一、産業組合法第十五條第二項但書ノ期日ヲ定款ノ規定ヲ以テ一回又ハ數回ニ定メタルトキハ其期日(數回ノ場合ハ最後ノ期日)カ年度最終ノ日ニアラサルトキハ其期日後最終日迄ノ變更ノ記載ハ其都度之ヲ爲スヲ要シ翌年度ニ於テ之ヲ取纏ムルコトヲ得サルモノナルヲ以テ注意スヘシ

一、準備金額ハ直接又ハ間接ニ其金額ヲ確定的ニ規定セシムヘシ「出資總額ト同額以上トス」ト謂フカ如キ不確定ノ規定ヲナサシメサル様注意スヘシ

一、施行規則第五條ノ規定ニ依リ積立ツヘキモノハ準備金カ定款所定ノ額ニ達シタル後ト雖尙積立ツヘキモノナルニ付注意スヘシ

一、剩餘金處分ニ關スル規定ハ剩餘金ヲ處分シ盡ス様明記スヘシ又此ノ規定ト剩餘金配當ノ規定トニ於テ順位割合等カ矛盾スルコトナキ様注意スヘシ

一、準備金又ハ特別積立金管理ノ爲メ預金トナシ又ハ有價證券ヲ買入レントスルトキハ預ケ先ハ總會ノ承認ヲ經タルモノニ限り又有價證券ノ買入ニ付テハ國債證券、地方債證券、勸業債券、貯蓄債券及農工債券以外ノモノニ付テハ總會ノ承認ヲ經タルモノニ限ル旨ヲ明記セシムヘシ

一、特別積立金ヲ組合員ノ救恤、表彰等組合ニ間接ノ關係アルニ過キ

サル事項ノタメニ處分セントスルトキハ其旨ヲ定款ニ規定シ且總會
ノ決議ヲ經テ之ヲ行フ旨ヲ規定セシムヘシ

一、設立當時ノ理事及監事ニハ設立者中ヨリ之ヲ選ヒ定款中ニ之ヲ規
定セシムヘシ

一、特別ノ事情ナキ組合ニアリテハ理事ノ任期ハ六ケ年監事ノ任期ハ
三ケ年ヲ超ヘサル範圍内ニ於テ之ヲ定メシムヘシ

一、理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其職務ヲ行
フヘキ旨ノ規定ヲ設ケシムヘシ

一、産業組合法第二十三條ニ規定セル總組合員ノ「五分ノ一」ナル制限
ハ定款ノ規定ヲ以テ其商ヲ増大スルコトヲ得サルニ付注意スヘシ

一、特別ノ事情ナキ組合ニアリテハ總會ノ開會ハ總組合員ノ半數以上
出席スルニアラサレハ開會スルコトヲ得サル旨ノ規定ヲ設ケシムヘシ

一、無限責任組合ノ合併ハ總會ノ決議事項ニアラサルカ故ニ之ヲ決議
事項トシテ舉ケタル場合ハ削除セシムヘシ

一、産業組合法第三十八條ノ準用シタル民法第六十四條但書ニ依リ別
段ノ規定ヲ設クル場合ニ於テハ急速輕微ナルモノニ限ル旨ヲ規定セ
シムヘシ

一、代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ禁スル規定ヲ設ケタルトキハ之
ヲ削除スヘシ

一、事業年度ノ變更ヲ爲スニ際シテハ一ケ年ニ足ラサル時日ヲ以テ事
業年度トナスノ止ムヲ得サルニ至ルコトアルモ之カ爲メニ一ケ年以
上ノ期間ヲ以テ事業年度トナスコトナキ様注意スヘシ

一、特別ノ事由アリテ三ケ年以上ノ期限ヲ以テ貸付ヲ爲サントスル場
合ニ於テハ定款ニ其場合ヲ列記シ其最長期ヲ定メ且其償還ハ可成割
賦ノ方法ニ依ラシムル旨ヲ規定セシムヘシ

一、貸付金及貯金ノ利率ニ付テハ必ス其最高限度ヲ規定セシムヘシ
一、販賣組合又ハ購買組合ニ付テハ其販賣シ又ハ購買スル物品ノ重ナ
ル種目ヲ定款ニ掲記シ生産組合ニ付テハ備付備品ノ重ナル種目ヲ掲

産業組合模範定款

記セシムヘシ

一、購買組合ニ付テハ組合カ組合員ニ賣却スル物品價額ノ標準ヲ規定セシムヘシ

一、販賣組合、購買組合又ハ生産組合ニ於テ歩合金又ハ使用料ヲ徴スル場合ハ之ニ關スル規定ヲ設ケ否ラサル場合ハ其旨明記セシムヘシ

一、組合ノ餘裕金保管方法ハ必ス之ヲ定款ニ規定セシムヘシ但シ其方法ニ付テハ不完全ナルコト及固定スルコトナキ様注意スヘシ

一、剩餘金配當ノ標準ハ持分(全部又ハ一部)ニ應スルモノナリヤ又ハ取扱タル物ノ數量價格若クハ事業ノ分量ニ應スルモノナリヤヲ明定セシムヘシ

一、無限責任組合及保證責任組合ニ付テハ組合員及脱退シタル組合員ノ損失分擔ニ關スル規定ヲ脱セサル様注意スヘシ

一、加入豫約者カ加入スル場合モ出資拂込ニ關スルモノヲ除クノ外加入ノ手續ニ依ラシメ且其貯金ノ全部ヲ以テ出資第一回ノ拂込ニ充テ

シムル旨ヲ規定セシムルヘシ

一、加入金又ハ増口金ハ左ノ場合ノ外之ヲ認ムヘカラス

一、手数料トシテ少額ヲ徴スルトキ

二、持分ノ均等ヲ圖ル爲メニ徴スルトキ

持分ニ關スル規定ニ於テ年度毎ニ算定加算スル方法ヲ採レルトキハ加入金又ハ増口金ヲ徴收スル場合ハ右第一號ノ加入金ニ限り之ヲ徴收シ得ルモノナルニ付注意スヘシ

一、持分ノ讓受人カ組合員ニアラサル者ナルトキハ持分ノ均等ヲ圖ルタメ徴收スル加入金ハ徴收セサル旨ヲ明定セシムヘシ

産業組合諸届並登記申請書式